

2011年の日中貿易について

～過去最高を記録するも、中国経済の減速や震災の影響で輸出の伸びが大幅鈍化～

2012年1月に発表された財務省貿易統計（円ベース、輸出は確報値、輸入は速報値）をジェトロがドル建て換算したところ、11年の日中貿易は総額3,449億1,623万ドル（前年比14.3%増）と、過去最高を記録した（注）。輸出入別では、輸出が1,614億9,422万ドル（8.3%増）、輸入が1,834億2,202万ドル（20.0%増）となった。東日本大震災などの影響で輸出の伸びが鈍化したことにより、05年以来6年ぶりに輸入の伸びが輸出を上回った。この結果、日中の貿易収支は日本側の219億2,780万ドルの赤字と、赤字額は前年比5.9倍増となった。赤字幅が拡大したのは05年以来6年ぶり。

● 11年の概況と12年の展望（ポイント）

【11年の概況】

- （1）日中貿易は、堅調な中国経済に支えられた輸出の増大、中国製完成品・部品等に対する日本側の需要拡大を受けた輸入の増加により2年連続で増大。しかし、11年11月以降は、輸出の減少により、単月の貿易総額の伸び率は1ケタ台に低下。
- （2）輸出は、中国国内需要の増大に加え、伸び率は低下傾向にあるものの、中国から日米欧向け輸出の増加もあり、中国での完成品生産に必要な設備機械・原材料が増加。しかし、震災の影響に加え、円高の進展、中国経済の減速、さらには欧州の債務危機の影響もあり、輸出は10月以降3ヵ月連続で前年同月比減少。
- （3）輸入は、スマートフォン（高性能携帯電話）の需要拡大に伴い通信機が増加したほか、衣類・同付属品、食料品の輸入も伸長。加えて、震災後の復興需要の高まりや電力不足・節電への対応や防災用品への需要拡大により、扇風機、発電機、電池などが急増。
- （4）日中貿易の伸び率が日本の対世界貿易の伸び率を下回ったことにより、日本の貿易総額に占める中国のシェアは20.6%と前年比0.1ポイント低下。中国の貿易シェアが低下したのは、90年以来21年ぶり。

【12年の展望】

- （1）中国政府による金融引き締め策の影響、震災後の影響を踏まえた企業のサプライチェーンの調整や円高対応の進展、欧州の債務危機の影響もあり、日本の対中輸出は、増加した場合でも小幅な伸びにとどまるか、あるいは減少が見込まれる。
- （2）輸入は、現地生産の一層の進展や、スマートフォンなどの輸入拡大などにより、引き続き2ケタの伸びを続けるとみられる。
- （3）これらを勘案すると、12年通年の貿易総額は、輸入の伸びに支えられ、過去最高を記録した11年を上回り、3,500億ドルを突破する可能性が高い。
- （4）日中貿易は06年以来輸出の伸びが輸入の伸びを上回る状況が続いてきたが、12年は11年に続き輸出の大幅な伸びが期待できる環境にないことから、12年の対中貿易収支の赤字幅は2年連続で前年比拡大するとみられる。

1. 輸出～震災の影響により、自動車が増減、半導体等電子部品の伸びも大きく低下

11年の対中輸出は、堅調な中国経済（同年の実質GDP成長率：9.2%）を背景に、第1四半期は2ケタの伸びを示していたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、電気機器、原料別製品、輸送用機器の増加幅が大きく縮小、または減少に転じたことにより、4、5月の伸び率は1ケタ台に低下した。その後の生産設備の復旧もあり、6月以降9月にかけて伸び率は概ね2ケタ台に回復したものの、10月以降は中国経済の減速、欧州の債務危機もあり3ヵ月連続で減少した。品目別では金属加工機械、繊維機械などの一般機械、化学製品は増加したものの、電気回路等の機器などの電気機器、原料別製品はほぼ横ばい、自動車は減少した。

【品目別の特徴】

- （1）中国での工業生産の拡大に加え、中国の労働コスト上昇、恒常化しつつある人手不足への対策もあり、金属加工機械、繊維機械、半導体等製造装置、産業用ロボットが高い伸びを示した。また、化学製品も引き続き堅調に推移した。
- （2）震災による工場被災に伴う部品供給などサプライチェーンの乱れのため、自動車や精製銅をはじめとする非鉄金属が減少したほか、半導体等電子部品、自動車の部分品も横ばいとなった。
- （3）中国での金融引き締め政策の影響を受けた不動産投資案件の減少もあり、前年に急増した建設用・鉱山用機械が減少した。食料品も、原発事故による中国側の輸入規制強化により大きく減少した。

2. 輸入～スマートフォンが牽引、震災対応用品も急増

11年の対中輸入は引き続き堅調に推移した。通信機などの電気機器に加え、衣類・同付属品、一般機械、原料別製品、食料品が2ケタの伸びを示した。また、震災後の需要増により、扇風機、発電機、電池など一部品目の輸入が急増した。

【品目別の特徴】

- (1) スマートフォンの普及拡大により、付加価値の高い通信機の輸入が急増した。レアアース、レアメタルが、数量は減少したものの価格が高騰したことにより、化学製品の輸入が増加した。
- (2) 衣類・同付属品は、中国からより低コストなアジア諸国へ生産拠点を移管する動きは続いているものの、中国で生産する製品の付加価値化による輸入単価上昇や、節電対応によるクールビズ・ウォームビズなど機能性商品の輸入増もあり、2割近い伸び率を記録した。食料品は、中国産食品の安全性に対する懸念が徐々に薄らいでいること、低価格品に対する国内需要の高まりもあり2割近い伸び率を記録した。
- (3) 震災後の電力不足や節電への対応、防災用品へのニーズの高まりにより、扇風機、発電機、電池、懐中電灯、ポータブルラジオが急増した。

3. 日本の対世界貿易に占める中国のシェア、90年以来21年ぶりに前年比で低下

11年には日本の対中貿易の伸び率(14.3%)が、対世界貿易の伸び率(14.7%)を下回ったため、日本の対世界貿易に占める中国のシェアは20.6%と、前年(20.7%)比0.1ポイント低下した。中国のシェアが前年比で低下したのは90年以来21年ぶり。うち、輸出シェアは19.7%と過去最高を記録したものの、輸入シェアは、原油、LNG等の資源輸入が大きく増加したこともあり、21.5%と2年連続で前年比低下した。なお、国・地域別でみて、貿易総額、輸出額、輸入額いずれも、中国は引き続き、日本の相手先で第1位となっている。

4. 2012年通年の見通し～過去最高を更新し、3,500億ドルを突破も、伸び率は低下

欧州の債務危機などもあり中国経済の減速傾向が強まる中、中国政府はこれまで引き締め傾向にあった金融政策を緩和させる方針を示している。ただし、12年の中国の実質GDP成長率は11年比で低下するとの予測が多く、成長率の低下は日本の対中輸出の鈍化要因となり得る。また、震災を踏まえた企業によるサプライチェーンの再構築、円高対応のため、企業の生産拠点の海外移転が一層進展すれば、日本の対中輸出の下押し圧力が強まることも考えられる。

一方、輸入は、震災復興需要などもあり12年の日本経済が11年よりは上向くとみられること、海外生産の拡大に伴う輸入増も見込まれることから、11年に続き輸出を上回る伸びを続けると見込まれる。

12年の対中貿易総額は、輸出の伸び悩みもしくは減少が予想されるものの、堅調な輸入に支えられ小幅に増加、10年以降3年連続で過去最高を更新し、3,500億ドルを突破する可能性が高い。他方、日中間の貿易収支は、輸出の伸び悩み傾向が顕著となることから、赤字幅は2年連続で拡大するとみられる。

【輸出】

- (1) 中国における工業生産は今後も拡大が見込まれていることから、中国での完成品生産に用いられる設備機械・部品・原材料は、現地調達動きは進みつつも、引き続き増加が予想される。
- (2) 震災により影響を受けた自動車および同部分品、半導体等電子部品の生産は既に回復しているものの、競争激化や円高への対応などによる現地生産の進展もあり、増加しても小幅な伸びにとどまるとみられる。
- (3) 欧州の債務危機の影響が一層深刻化すれば、中国の欧州向け完成品輸出の伸びが鈍化し、それが日本からの高付加価値な原材料や部品の対中輸出により大きな影響を与える可能性もある。

【輸入】

- (1) スマートフォン需要は引き続き拡大することが予想されており、通信機は今後も増加を続けるとみられる。
- (2) 高付加価値品の中国への生産移管が進む中、輸入品の付加価値レベルの向上に伴い、電気機器、自動車の部分品、衣類・同付属品の伸びが見込まれる。
- (3) 震災により影響を受けた半導体等電子部品、自動車の部分品の輸入は、国内生産設備の復旧に伴い回復が見込まれる。
- (4) 円高の進展による輸入コストの低下が、対中輸入のさらなる増加を促進する可能性もある。
- (5) 一方、レアアース、レアメタルは、価格高騰の流れに一服感がみられることから、化学製品の輸入の伸びは鈍化が見込まれる。

(注) 円ベースでは、総額が27兆5,409億円(3.9%増)、輸出が12兆9,048億円(1.4%減)、輸入が14兆6,361億円(9.1%増)。96年4月より、財務省貿易統計が円建てのみの発表となったため、同年以降のドル建て貿易額は財務省税関長公示レートを基にジェトロが独自に算出している。財務省によれば、11年下半期の日本の中国を含む対アジア輸出の決済通貨は、米ドルが49.6%、円が48.1%。対アジア輸入の決済通貨は米ドルが71.5%、円が26.8%となっており、貿易決済については米ドルが使用される割合が最も高くなっている。

＜2011 年の特徴＞

（１） 日本の対中国貿易総額は過去最高を更新

11 年の日本の対世界貿易は、輸出が前年比 7.0%増、輸入が同 23.3%増、総額は同 14.7%増と輸出の伸びは鈍化したものの前年に引き続き増加した。

対中貿易は輸出が同 8.3%増、輸入が同 20.0%増、総額が同 14.3%増と輸入と総額では全体の伸びを下回ったものの、貿易総額は 3,449 億 1,623 万ドルと過去最高を更新した。

＜図表－1（１）、8（１）＞

（２） 日本の対世界貿易に占める対中貿易のシェア、21 年ぶりに低下

輸出における中国のシェアは 19.7%と、前年（19.4%）から 0.3 ポイント上昇した一方、輸入における中国のシェアは 21.5%と前年（22.1%）から 0.6 ポイント低下した。貿易総額に占める中国のシェアも 20.6%と前年（20.7%）から 0.1 ポイント低下した。日本の貿易総額に占める中国のシェアが低下したのは 90 年以来 21 年ぶり。その要因としては、東日本大震災後の火力発電需要の増大に伴う原油、LNG の輸入の増大や価格上昇により、輸入相手先第 4 位のサウジアラビアと第 5 位のアラブ首長国連邦（UAE）がシェアを大きく伸ばしたことが挙げられる。

＜図表－8（１）～（６）＞

（３） 震災や欧州債務危機の影響を受け、対中貿易赤字は増大

11 年における日本の対中貿易収支は、219 億 2,780 万ドルの入超となった。対中貿易赤字は 06 年以降減少傾向にあったが、11 年は一転して大幅増となった。輸出は、電気機器、一般機器、輸送機器などの一部品目が、震災後の国内工場の生産停止などを受けて減少または伸びが大きく鈍化した。また、第 4 四半期には欧州債務危機の影響もあり減少した。他方、輸入は震災後の需要増や円高、また資源価格の上昇により 20.0%増と前年並みの伸び率を確保した。このため、縮小傾向にあった対中貿易赤字は 05 年以来 6 年ぶりに増大した。

なお、日本の対香港向け輸出の大部分が中国に再輸出されている実態を勘案し、日中貿易を双方の輸入ベースでみると、日本側が 111 億 6,900 万ドルの黒字となった。

＜図表－1（１）、6、10＞

（４） 前年に比べ、輸入価格が上昇

日中貿易を指数（05 年＝100）でみると、輸出は欧州債務危機などの影響による海外需要の伸び悩みにより 10～12 月の数量が前年に比べ落ち込んだ。一方、輸入は特に下半期における価格上昇に加え数量も伸びており、金額では 2 月を除き前年同月比で上昇した。

＜図表－4（１）（２）＞

＜東日本大震災が日中貿易に与えた影響＞

（１）11 年の状況

11 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、日中貿易にも少なからず影響を与えた。輸出では、震災に伴い減産を余儀なくされた部品・原材料および、当該部品・原材料を使用する完成品の輸出の伸び率が低下、ないしは減少した。復旧に伴い、下半期には徐々に減少幅の縮小や増加に転じるなど回復がみられたが、通年では概ね減少となり、日本の対中輸出全体を押し下げる結果につながった。

輸入は、被災工場の生産停止、震災後の電力不足・節電への対応、防災用品への需要増に伴い、一部品目の輸入が急増したが、全体の輸入額に占めるシェアが小さかったこともあり、対中輸入の押し上げ効果は限定的だった。他方、震災の影響を受けて一部工業製品では輸入が減少した品目もあったが、8 月以降は回復が鮮明となった。

①輸出

輸出への影響を品目別でみると、半導体等電子部品では、MCU（マイクロコントローラユニット）などが工場被災により第 2 四半期には特に数量で大きく落ち込みがみられたが、復旧に伴い第 3 四半期には回復した。

また、車載用端子・コネクタ材、電子機器の材料などに使用される陰極銅は、年初は中国国内市場の相場が国際市場を下回ったこともあり、輸出は大幅に減少、3 月にはプラスに回復したが、銅精錬工場の被災に伴い生産量が大きく減少し、メーカーが輸出よりも国内供給を優先したこともあり、4 月の伸び率は前年同月比 62.8%減と落ち込んだ。しかし、8 月には前年同月比でプラスに転じ、その後高い伸びで推移した。

さらに、自動車は、震災後の部品供給不足による生産減少を受けて輸出も大幅に減少、4 月には乗用車の輸出が前年同月比 67.9%減と大きく落ち込んだ。その後 6 月には、前年同月比でプラスに転じるなど回復がみられたが、11～12 月には、前年同月比で減少した。これは、前年同期に小型車減税措置の終了や北京市のナンバープレート規制開始を控えた年末の駆け込み需要もあり、基数が高かったことなどによるとみられる。

このほか、食品は、震災に伴う原発事故を受けた中国側の日本産食品に対する輸入規制措置強化により、4 月以降前年同月比で大幅減少が続き、通年では 38.4%減となった。しかし、一部地域を除き、6 月には水産品、11 月には穀物、加工食品、飲料、アルコール等で輸入が再開される中、12 月は清酒など一部品目で、大幅増となるなど回復に向けた兆しもみられた。

<震災後、輸出動向に変動があった品目>

(単位: %, 100万ドル)

減少品目	HSコード	前年同月比伸び率							輸出額	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期累計	上半期累計	
自動車										
乗用車	870321~870390	31.8	13.2	▲ 20.2	▲ 67.9	▲ 38.9	1.6	▲ 13.2	2,458.3	
自動車の部分品	8707.8708	0.4	20.8	▲ 8.5	▲ 12.5	▲ 21.7	▲ 0.4	▲ 3.8	3,618.6	
食品										
水産品(冷凍)	0303	▲ 28.8	52.9	▲ 42.7	▲ 95.6	▲ 96.5	▲ 85.1	▲ 51.8	38.0	
飲料	2201~2206, 2208	▲ 1.4	92.5	▲ 9.5	▲ 52.5	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 25.4	12.3	
うち清酒	220600200	32.9	116.3	▲ 22.0	▲ 34.9	▲ 89.8	▲ 75.1	▲ 23.1	1.5	
非鉄金属										
精製銅・銅合金の塊	7403	▲ 55.5	▲ 49.1	1.3	▲ 60.3	▲ 46.3	▲ 35.1	▲ 39.4	691.5	
うち陰極銅	740311	▲ 55.8	▲ 48.8	5.0	▲ 62.8	▲ 47.1	▲ 34.9	▲ 39.2	662.8	
半導体										
MCU	854231992	▲ 5.0	49.6	36.5	16.6	▲ 10.5	3.0	14.5	176.1	

減少品目	HSコード	前年同月比伸び率							輸出額	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	11年累計	11年累計	
自動車										
乗用車	870321~870390	7.3	35.4	18.7	26.1	▲ 4.4	▲ 14.9	▲ 1.1	6,155.7	
自動車の部分品	8707.8708	20.6	37.0	27.1	15.7	8.7	▲ 9.7	5.6	8,312.0	
食品										
水産品(冷凍)	0303	▲ 60.4	▲ 41.9	▲ 80.3	▲ 84.8	▲ 32.1	▲ 45.1	▲ 57.3	110.2	
飲料	2201~2206, 2208	▲ 64.9	▲ 69.0	▲ 95.1	▲ 84.5	▲ 85.4	▲ 37.5	▲ 51.5	18.8	
うち清酒	220600200	▲ 98.6	▲ 89.6	▲ 84.2	▲ 57.9	▲ 73.9	77.3	▲ 36.4	2.6	
非鉄金属										
精製銅・銅合金の塊	7403	▲ 3.1	50.9	87.7	61.9	90.5	25.6	▲ 4.2	1,781.4	
うち陰極銅	740311	▲ 3.6	51.8	90.3	63.5	95.3	26.4	▲ 3.3	1,727.8	
半導体										
MCU	854231992	27.4	44.9	65.4	35.5	20.3	▲ 15.9	20.2	397.9	

[資料]財務省貿易統計よりジェトロ作成

②輸入

輸入は、震災後の防災用品の需要急増を受けて、乾電池、懐中電灯、ポータブルラジオなどの輸入が著増。乾電池は在庫調整のため8月以降は前年を割り込んだものの、ポータブルラジオなどは12月まで高い伸び率を示した。加えて、震災後の電力不足を受けた計画停電、節電への対応のため、発電機、扇風機などの輸入も急増した。また、生産工場被災の影響などにより、炭素、メチルエチルケトンの輸入も急増した。特に、メチルエチルケトンは震災前の輸入実績がほとんどなかったため、数量ベースで8倍以上の伸びとなった。

その一方で、主に日本で製造している半導体前工程部品が、被災のため輸出が減少したことにより、中国からの後工程部品の輸入が4月以降大きく落ち込んだ。また、中国からの輸入が増加傾向にあった、エアバッグ、ハンドル類などの一部自動車部品についても、日本国内の部品供給不足による自動車の減産に伴い、4、5月は大幅に減少した。しかし、被災工場の再稼動に伴い、8月以降は回復が鮮明になっている。

JETRO プレスリリース「2011 年の日中貿易」資料

＜震災後、輸入が増加した品目＞

品目		HSコード	前年同月比伸び率(％、上段：数量ベース、下段：金額ベース)							上段：輸入量、下段：輸入額		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期累計	単位	10年上半期累計	11年上半期累計
節電・防災	扇風機	841451	▲ 22.6	▲ 13.6	126.0	28.5	97.6	155.6	94.6	台	7,391,404	14,380,701
			▲ 4.3	10.0	137.5	43.7	85.0	124.8	86.1	100万ドル	118.5	220.7
	発電機類	8502	▲ 12.0	132.2	75.4	474.1	623.3	327.3	293.2	台	20,193	79,406
			38.2	58.4	144.0	611.4	383.2	2,321.3	752.2	100万ドル	4.9	41.8
	マンガン、アルカリ乾電池	850610	▲ 13.5	▲ 23.0	108.3	243.5	186.1	116.7	85.5	本	239,268,603	443,956,617
			▲ 19.0	2.2	133.5	417.9	317.3	226.1	159.8	100万ドル	24.4	63.4
	懐中電灯	851310	55.0	▲ 9.5	179.8	175.1	215.1	93.1	121.5	個	19,996,539	44,301,891
			24.9	▲ 1.5	146.5	217.0	370.1	280.2	182.3	100万ドル	38.0	107.2
	ポータブルラジオ	852719	2.7	▲ 29.1	97.6	132.7	292.8	572.7	173.2	台	1,528,164	4,175,165
			11.5	▲ 17.7	139.9	106.1	231.2	486.3	152.8	100万ドル	14.2	35.9
代替輸入	炭素	280300	9.0	▲ 84.4	▲ 80.8	468.0	1,056.6	659.4	207.4	KG	6,147,802	18,897,270
			57.6	▲ 83.0	▲ 71.0	469.9	928.7	640.2	235.9	100万ドル	7.4	25.0
	メチルエチルケトン	291412000	▲ 100.0	▲ 100.0	－	273.9	全増	全増	620.1	KG	1,739,312	12,525,073
			▲ 100.0	▲ 100.0	－	866.3	全増	全増	1,948.0	100万ドル	2.1	42.5

品目		HSコード	前年同月比伸び率(％、上段：数量ベース、下段：金額ベース)							上段：輸入量、下段：輸入額		
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	11年累計	単位	10年累計	11年累計
節電・防災	扇風機	841451	326.8	905.9	82.7	61.7	▲ 9.2	55.9	143.1	台	9,546,110	23,208,121
			261.8	1,012.2	129.6	96.5	5.9	60.8	132.6	100万ドル	155.2	361.0
	発電機類	8502	314.7	308.4	30.8	161.3	125.3	351.9	242.1	台	40,073	137,107
			761.5	601.8	139.2	245.9	114.3	318.7	546.1	100万ドル	9.9	64.1
	マンガン、アルカリ乾電池	850610	32.0	▲ 22.0	▲ 24.5	▲ 18.4	▲ 44.4	▲ 38.3	25.8	本	533,809,209	671,611,188
			77.2	▲ 18.0	▲ 28.8	▲ 14.0	▲ 53.0	▲ 26.0	59.6	100万ドル	56.4	90.1
	懐中電灯	851310	145.3	149.9	82.6	86.8	60.4	40.3	107.7	個	40,509,415	84,139,773
			245.9	163.9	95.5	105.2	42.5	55.2	149.9	100万ドル	78.4	195.8
	ポータブルラジオ	852719	319.4	254.3	269.3	211.5	173.5	70.8	195.1	台	3,329,857	9,826,578
			312.9	216.4	258.6	208.3	123.4	100.5	180.5	100万ドル	31.6	88.6
代替輸入	炭素	280300	276.0	609.0	210.8	402.8	413.0	535.6	301.8	KG	12,410,720	49,860,720
			254.2	570.2	193.7	290.8	345.4	387.5	287.7	100万ドル	16.5	64.1
	メチルエチルケトン	291412000	全増	全増	全増	全増	全増	全増	830.9	KG	1,739,312	16,191,899
			全増	全増	全増	全増	全増	全増	2,277.1	100万ドル	2.1	49.3

〔資料〕財務省貿易統計よりジェトロ作成

＜震災後、輸入が減少した品目＞

品目		HSコード	前年同月比伸び率(金額ベース)							(単位：％、100万ドル)	
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期累計	輸入額	
	MCU	854231032	▲ 28.9	▲ 43.4	▲ 38.4	▲ 44.4	▲ 68.9	▲ 48.6	▲ 45.3	102.6	56.1
	ハンドル類	870894	18.6	▲ 15.8	8.2	▲ 42.1	▲ 28.1	5.5	▲ 8.3	67.5	61.9
	エアバッグ	870895	12.6	27.4	18.9	▲ 35.3	▲ 42.7	▲ 24.2	▲ 6.5	83.1	77.8

品目		HSコード	前年同月比伸び率(金額ベース)							輸入額	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	11年累計	10年累計	11年累計
	MCU	854231032	▲ 38.6	18.4	47.3	26.2	56.3	1.9	▲ 23.4	168.1	128.8
	ハンドル類	870894	38.8	22.5	44.0	59.2	17.9	48.2	15.3	138.5	159.6
	エアバッグ	870895	▲ 19.0	35.7	33.7	28.6	21.2	17.8	6.9	179.1	191.5

〔資料〕財務省貿易統計よりジェトロ作成

(2) 今後の見通し

輸出面では、半導体等電子部品、非鉄金属、自動車などの生産設備は11年秋口までに本格的に復旧した。しかし、震災を機にリスク分散の観点から国内他地域のほか、国外にも生産拠点を分散させる重要性が認識された。生産拠点の調整などがいっそう進展した場合、今後の日本の対中輸出に影響を与える可能性がある。

輸入面では、震災後急増した一部品目のうち、防災用品や電力不足対応製品は、需要の増加の一股感もあり伸び率が低下することが考えられる。一方で被災工場の生産停止による代替輸入については、12月まで継続しており、今後も輸入が増加する可能性がある。

<品目別輸出動向>

～震災や中国政府による金融引き締め策の影響などから、伸びが鈍化～

輸出総額は前年比 8.3%増の 1,614 億 9,422 万ドルと過去最高を記録したものの、伸び率は 1 ケタ台にとどまった。

東日本大震災の影響により、第 2 四半期には自動車、自動車の部分品、非鉄金属の輸出が減少したほか、半導体等電子部品も伸び率が大きく低下した。また、中国政府による金融引き締めの影響を受け、建設用・鉱山用機械の輸出が減少したほか、高い伸び率を記録していた金属加工機械の輸出の伸び率も大きく低下した。この結果、輸出総額の伸び率も前年（同 36.0%増）比で大きく低下した。

対中輸出に占める上位 5 品目は、①**一般機械**（390 億 8,200 万ドル、前年比 16.9%増、シェア 24.2%、寄与度 3.8）、②**電気機器**（366 億 2,506 万ドル、同 4.8%増、シェア 22.7%、寄与度 1.1）、③**原料別製品**（228 億 6,522 万ドル、同 5.6%増、シェア 14.2%、寄与度 0.8）、④**化学製品**（212 億 91 万ドル、同 10.4%増、シェア 13.1%、寄与度 1.3）、⑤**輸送用機器**（158 億 1,062 万ドル、同 3.8%増、シェア 9.8%、寄与度 0.4）となった。

<主要品目別動向>

①**一般機械**（390 億 8,200 万ドル、前年比 16.9%増、シェア 24.2%、寄与度 3.8）

- ・原動機（55 億 8,768 万ドル、同 11.1%増、シェア 3.5%、寄与度 0.4）

エンジンやその部品、ウォータータービン（液体原動機）などの輸出が増加した。

- ・金属加工機械（53 億 807 万ドル、同 46.5%増、シェア 3.3%、寄与度 1.1）

中国における工業生産拡大に伴い、電気機械向けのマシニングセンタなどが引き続き増加した。他方、中国政府による金融引き締め政策などの影響により、上半期に比べると下半期は伸び悩んだ。

- ・ポンプ・遠心分離機（27 億 6,077 万ドル、同 2.6%増、シェア 1.7%、寄与度 0.1）

建設機械向けの油圧ポンプなどの輸出が増加した。他方、冷蔵・冷凍機やエアコンなどに用いられる圧縮機は中国での現地生産の増加もあり、減少した。

- ・荷役機械（18 億 1,502 万ドル、同 1.9%増、シェア 1.1%、寄与度 0.0）

中国での荷役機械需要の減速もあり、同品目の大部分を占める荷役機械の部品が前年比で横ばいとなった。

- ・建設用・鉱山用機械（16 億 9,050 万ドル、同 7.5%減、シェア 1.1%、寄与度▲0.1）

中国政府による金融引き締め策の影響を受けた不動産投資案件の減少もあり、メカニカルショベルなどの輸出が減少した。

- ・繊維機械（15 億 469 万ドル、同 21.6%増、シェア 0.9%、寄与度 0.2）

人件費の上昇、人手不足の顕在化により自動化のニーズが高まる中、繊維機械の輸出が増加した。ただし、中国政府による金融引き締め策の影響や、中国から欧米向けアパレル輸出に先行き不透明感もあり、下半期には織機や編み機などの輸出で減速傾向もみられた。

②電気機器（366 億 2,506 万ドル、同 4.8%増、シェア 22.7%、寄与度 1.1）

- ・半導体等電子部品（128 億 9,578 万ドル、同 8.4%増、シェア 8.0%、寄与度 0.7）

うち IC（92 億 6,857 万ドル、同 10.8%増、シェア 5.7、寄与度 0.6）

スマートフォンの世界的な需要拡大に伴う中国での生産増を受け、フラッシュメモリーなどの輸出が増加した。また、液晶パネル用の発光ダイオード（LED）などが引き続き増加した。このほか、車載用などに用いられる MCU（マイクロコントローラユニット）は、震災の影響を受け 5 月には前年同月比で減少するも、その後復旧に伴い輸出にも回復がみられた。

他方、世界的なパソコン需要の低迷を受け、DRAM の価格が大幅に下落。対中輸出も金額・数量ともに大きく減少した。

- ・電気回路等の機器（62 億 3,600 万ドル、同 4.0%増、シェア 3.9%、寄与度 0.2）

電気回路の開閉用・保護用機器、配電盤・制御盤、これらの部品などの輸出がほぼ横ばいで推移した。

- ・電気計測機器（29 億 7,177 万ドル、同 15.8%増、シェア 1.8%、寄与度 0.3）

中国における医療分野や食品・農産品検査などの食品安全分野での需要の高まりもあり、電気計測機器の輸出が引き続き増加した。

- ・重電機器（24 億 4,781 万ドル、同 17.8%増、シェア 1.5%、寄与度 0.3）

スタティックコンバーターなどが増加した。

- ・映像機器（18 億 2,883 万ドル、同 6.8%減、シェア 1.1%、寄与度▲0.1）

中国におけるフル HD（フルハイビジョン）・大型液晶テレビの人気の高まりを受け、モニターやテレビ受像機の輸出が増加。ただし、価格下落により金額の伸びは数量に比べて小幅にとどまった。

また、中国での現地生産拡大に伴い、デジタルカメラやビデオカメラなど映像記録・再生機器の輸出が減少した。

- ・電池（13 億 5,841 万ドル、同 9.3%減、シェア 0.8%、寄与度▲0.1）

主力のリチウムイオン電池でウオン安を追い風に韓国メーカーが価格競争力を高める中、日本メーカー各社は収益改善を目指し中国現地での生産拡大を志向。日本からの輸出が減少した。

③原料別製品（228 億 6,522 万ドル、同 5.6%増、シェア 14.2%、寄与度 0.8）

- ・鉄鋼（84 億 77 万ドル、同 7.1%増、シェア 5.2%、寄与度 0.4）

鋼材価格の上昇により、数量ベースでは減少も、金額では小幅に増加した。品目別では、造船向けや建機向けを中心とする厚中板が増加。その一方、熱延広幅帯鋼や、自動車向けに使われる冷延広幅帯鋼、亜鉛めっき鋼板は伸び悩んだ。

- ・非鉄金属（46 億 2,951 万ドル、同 3.2%減、シェア 2.9%、寄与度▲0.1）

東日本大震災により製錬所などが被災。電線や回路基盤など多岐に渡る分野に用いられる精製銅の輸出が大きく減少した。復旧に伴い 8 月以降は増加に転じたものの、通年では減少した。

また、IT 製品や家電製品などに用いられるアルミ電解コンデンサーの部材となるアル

ミニウムの箔などの輸出が減少した。

- ・織物用糸・繊維製品（32 億 7,642 万ドル、同 12.0%増、シェア 2.0%、寄与度 0.2）

合成繊維の輸出が増加した。中国の自動車や半導体向けなど衣類以外の産業用高品質化学繊維の輸出が好調であった。

④化学製品（212 億 91 万ドル、同 10.4%増、シェア 13.1%、寄与度 1.3）

- ・プラスチック（80 億 119 万ドル、同 6.4%増、シェア 5.0%、寄与度 0.3）

液晶ディスプレイの保護フィルムやタッチパネルの基材フィルムなどとして使用される、ポリエチレンテレフタレートなどが増加した。

- ・有機化合物（74 億 9,872 万ドル、同 17.1%増、シェア 4.6%、寄与度 0.7）

家電製品や自動車の部品に使用される ABS 樹脂や、アクリル繊維などに使用されるアクリロニトリルの輸出が、中国における需要増加などを受けて増加した。

また、ポリエステルの原料であるパラキシレンは、中国でも生産されているが、需要に供給が追いつかないことから日本からの輸出も増加した。

⑤輸送用機器（158 億 1,062 万ドル、同 3.8%増、シェア 9.8%、寄与度 0.4）

- ・自動車（70 億 1,447 万ドル、同 0.4%減、シェア 4.3%、寄与度▲0.0）

うち乗用車（61 億 5,571 万ドル、同 1.1%減、シェア 3.8%、寄与度▲0.1）

東日本大震災によるサプライチェーン混乱の影響を受け、3～5 月にかけて完成車の輸出が前年同期を大きく下回った。6 月には前年同月比でプラスに転じるなど秋にかけて輸出に回復が見られたものの、11～12 月には、前年同期に小型車減税措置の終了や北京市のナンバープレート規制開始を控えた年末の駆け込み需要もあり、基数が高かったことなどから前年同月比で減少した。

- ・自動車の部分品（83 億 1,199 万ドル、同 5.6%増、シェア 5.2%、寄与度 0.3）

東日本大震災によるサプライチェーン混乱の影響を受け、部分品の輸出も伸び率は前年を大きく下回った。

⑥その他（183 億 2,464 万ドル、同 4.7%増、シェア 11.4%、寄与度 0.6）

- ・科学光学機器（78 億 1,240 万ドル、同 21.4%増、シェア 4.8%、寄与度 0.9）

中国での液晶テレビの生産拡大に伴い、液晶デバイスや液晶パネル用の偏光板などの輸出が増加した。また、中国におけるカメラの現地生産拡大を受け、カメラ用のレンズの輸出も増加した。このほか超音波診断装置など医療機器も増加した。

＜品目別輸入動向＞

～輸入品の高付加価値化や資源価格の上昇による輸入増で、前年並みの伸び率を記録～

輸入総額は前年比 20.0%増の 1,834 億 2,202 万ドルと、過去最高を記録した。化学製品、スマートフォン（高機能携帯電話）を中心とする通信機、鉄鋼などの伸び率が高かった。

対中輸入に占める上位 5 品目は、①**電気機器**（455 億 4,472 万ドル、前年比 15.1%増、シェア 24.8%、寄与度 3.9）、②**一般機械**（296 億 105 万ドル、同 15.3%増、シェア 16.1%、寄与度 2.6）、③**衣類・同付属品**（260 億 1,884 万ドル、同 19.0%増、シェア 14.2%、寄与度 2.7）、④**原料別製品**（226 億 5,228 万ドル、同 29.2%増、シェア 12.4%、寄与度 3.4）、⑤**化学製品**（132 億 4,776 万ドル、同 52.1%増、シェア 7.2%、寄与度 3.0）となった。

＜主要品目別動向＞

①電気機器（455 億 4,472 万ドル、前年比 15.1%増、シェア 24.8%、寄与度 3.9）

- ・通信機（126 億 5,550 万ドル、同 42.7%増、シェア 6.9%、寄与度 2.5）

携帯電話端末、なかでも単価の高いスマートフォンの輸入が引き続き増加しており、特に金額ベースでの伸びが顕著。加えて、モバイルブロードバンドサービスの多様化で、高付加価値の基地局が増加した。

- ・音響映像機器（含部品）（120 億 5,805 万ドル、同 0.5%増、シェア 6.6%、寄与度 0.0）

上半期における地上デジタル放送への完全移行に向けた需要増により、液晶テレビが数量では微増となったものの、価格下落の影響で金額では減少した。映像記録・再生機器は数量では減少したものの、BD（ブルーレイ）など高付加価値品の輸入増により金額ではほぼ横ばいとなった。

- ・重電機器（34 億 1,379 万ドル、同 14.8%増、シェア 1.9%、寄与度 0.3）

スタティックコンバーターの金額が増加した。

- ・半導体等電子部品（28 億 8,597 万ドル、同 7.1%減、シェア 1.6%、寄与度▲0.1）

セットメーカーの中国など海外での現地生産拡大により、汎用部品の国内需要が縮小した。

②一般機械（296 億 105 万ドル、同 15.3%増、シェア 16.1%、寄与度 2.6）

- ・電算機類（含周辺機器）（149 億 4,841 万ドル、同 19.5%増、シェア 8.2%、寄与度 1.6）

主力のノートパソコンは、中・高級機種においても中国での生産が拡大している。更に、タブレット型パソコンの輸入増もあり、数量ベース、金額ベースともに増加した。

③衣類・同付属品（260 億 1,884 万ドル、同 19.0%増、シェア 14.2%、寄与度 2.7）

中国における人件費などのコスト上昇に伴い、より低コストなアジア諸国に生産拠点を移管する動きが続いているものの、高付加価値品や流行への迅速な対応が必要な製品は依然として中国での生産が中心である。また節電対応によるクールビズ・ウォームビズなど機能性商品の輸入増もあり、2割近い伸びを記録した。

④原料別製品（226 億 5,228 万ドル、同 29.2%増、シェア 12.4%、寄与度 3.4）

- ・金属製品（53 億 5,224 万ドル、同 22.7%増、シェア 2.9%、寄与度 0.7）

鉄鋼製やアルミ製の構造物およびその部分品が急増した。

- ・織物用糸・繊維製品（52 億 5,101 万ドル、同 25.4%増、シェア 2.9%、寄与度 0.7）

ベッドリネンや毛布・ひざ掛けなどの伸び率が高く、特に 3 月の伸びが著しかった。

- ・鉄鋼（27 億 9,288 万ドル、同 61.8%増、シェア 1.5%、寄与度 0.7）

原料の鉄鉱石価格の高騰などを受け、数量では微増に留まるも金額で 6 割を超える伸びとなった。なお、その他合金鋼の一次製品が 9 倍以上に激増した。10 年 7 月の熱延広幅帯鋼の輸出増値税還付取り消しを受け、還付対象となる品目への転換が進んだ。

- ・非鉄金属（27 億 6,652 万ドル、同 37.1%増、シェア 1.5%、寄与度 0.5）

アルミニウム塊は 5～7 月に数量ベースで減少したが、自動車産業の生産回復などを背景に 9～11 月にかけて高い伸びを示した。

⑤化学製品（132 億 4,776 万ドル、同 52.1%増、シェア 7.2%、寄与度 3.0）

無機化学品が、レアアースおよびその加工品の中国の輸出抑制策の影響により価格が高騰。数量ベースでは減少したものの金額ベースで大幅増となった。

また、震災による国内工場の生産停止の影響により、炭素、メチルエチルケトンなどの代替輸入が 4 月以降急増した。

⑥食料品（93 億 5,673 万ドル、同 17.2%増、シェア 5.1%、寄与度 0.9）

10 年に引き続き、前年比で増加。中国産食品の安全性に対する不信感が徐々に薄らいできたこと、外食産業および一般消費者の低価格志向により全般的に増加した。加えて、東日本大震災以降の国内生産減少もあり鶏肉の輸入が増加、備蓄食として家庭用調理冷凍食品の売れ行きも好調だった。

⑦輸送用機器（34 億 8,248 万ドル、同 23.6%増、シェア 1.9%、寄与度 0.4）

- ・自動車の部分品（19 億 4,022 万ドル、同 21.0%増、シェア 1.1%、寄与度 0.2）

リーマン・ショック以降、円高や国内市場の縮小を受け、部品メーカーの海外進出が進んでおり、日本への輸入額が増加している。震災後、自動車の国内生産が低迷した影響で完成品生産に必要な部分品の輸入が減少し、4、5 月はハンドル、エアバッグなどの部品が前年割れとなったが、8 月以降は回復が鮮明となった。

⑧科学光学機器（35 億 4,905 万ドル、同 24.5%増、シェア 1.9%、寄与度 0.5）

液晶デバイスのその他の機器が数量ベースでは約 2 割増、金額ベースでは約 2 倍の高い伸びを示した。

〈図表編〉

2011年の日中貿易

図表－１（１） 日中貿易の推移

(単位:1,000ドル、%)

	輸出額	伸び率	輸入額	伸び率	総額	伸び率	貿易収支
2000年	30,427,526	30.4	55,303,372	29.0	85,730,890	29.5	▲ 24,875,846
2001年	31,090,723	2.2	58,104,744	5.1	89,195,467	4.0	▲ 27,014,021
2002年	39,865,578	28.2	61,691,604	6.2	101,557,182	13.9	▲ 21,826,026
2003年	57,219,157	43.5	75,192,802	21.9	132,411,959	30.4	▲ 17,973,645
2004年	73,818,019	29.0	94,227,211	25.3	168,045,230	26.9	▲ 20,409,192
2005年	80,340,099	8.8	109,104,815	15.8	189,444,914	12.7	▲ 28,764,716
2006年	92,851,689	15.6	118,516,332	8.6	211,368,021	11.6	▲ 25,664,643
2007年	109,060,309	17.5	127,643,646	7.7	236,703,955	12.0	▲ 18,583,337
2008年	124,035,383	13.7	142,337,115	11.5	266,372,498	12.5	▲ 18,301,732
2009年	109,630,428	▲ 11.6	122,545,120	▲ 13.9	232,175,548	▲ 12.8	▲ 12,914,692
2010年	149,086,369	36.0	152,800,714	24.7	301,887,083	30.0	▲ 3,714,345
2011年	161,494,217	8.3	183,422,016	20.0	344,916,233	14.3	▲ 21,927,799
2009年1月	5,632,741	▲ 33.5	11,865,669	2.1	17,498,410	▲ 12.9	▲ 6,232,928
2月	6,786,273	▲ 28.5	6,672,800	▲ 29.7	13,459,073	▲ 29.1	113,473
3月	8,177,231	▲ 26.2	10,030,160	▲ 13.9	18,207,391	▲ 19.9	▲ 1,852,929
4月	8,217,354	▲ 24.7	10,050,183	▲ 20.3	18,267,537	▲ 22.3	▲ 1,832,829
5月	8,341,338	▲ 25.2	8,352,882	▲ 27.6	16,694,220	▲ 26.4	▲ 11,544
6月	9,380,207	▲ 16.5	9,357,358	▲ 19.2	18,737,565	▲ 17.9	22,849
7月	9,916,148	▲ 17.3	10,493,156	▲ 17.3	20,409,304	▲ 17.3	▲ 577,008
8月	9,307,091	▲ 17.5	9,808,488	▲ 12.6	19,115,579	▲ 15.1	▲ 501,397
9月	10,543,172	0.3	11,278,942	▲ 12.0	21,822,114	▲ 6.5	▲ 735,770
10月	11,032,690	▲ 1.3	11,339,656	▲ 15.2	22,372,346	▲ 8.8	▲ 306,966
11月	10,183,864	16.6	11,510,335	▲ 4.0	21,694,199	4.7	▲ 1,326,471
12月	12,112,319	51.3	11,785,493	0.2	23,897,812	20.9	326,826
2010年1月	10,033,104	78.1	11,484,263	▲ 3.2	21,517,367	23.0	▲ 1,451,159
2月	10,003,005	47.4	10,294,927	54.3	20,297,932	50.8	▲ 291,922
3月	12,928,310	58.1	11,324,771	12.9	24,253,081	33.2	1,603,539
4月	12,415,098	51.1	12,668,596	26.1	25,083,694	37.3	▲ 253,498
5月	10,981,774	31.7	11,624,741	39.2	22,606,515	35.4	▲ 642,967
6月	12,061,113	28.6	12,580,539	34.5	24,641,652	31.5	▲ 519,426
7月	12,983,668	30.9	12,818,408	22.2	25,802,076	26.4	165,260
8月	12,133,516	30.4	12,949,757	32.0	25,083,273	31.2	▲ 816,241
9月	12,770,604	21.1	14,023,182	24.3	26,793,786	22.8	▲ 1,252,578
10月	14,002,727	26.9	13,437,782	18.5	27,440,509	22.7	564,945
11月	13,401,173	31.6	15,306,614	33.0	28,707,787	32.3	▲ 1,905,441
12月	15,372,277	26.9	14,287,134	21.2	29,659,411	24.1	1,085,143
2011年1月	11,207,603	11.7	14,922,285	29.9	26,129,888	21.4	▲ 3,714,682
2月	14,134,514	41.3	11,171,569	8.5	25,306,083	24.7	2,962,945
3月	14,662,375	13.4	15,497,859	36.9	30,160,234	24.4	▲ 835,484
4月	12,900,472	3.9	14,224,004	12.3	27,124,476	8.1	▲ 1,323,532
5月	11,528,137	5.0	14,158,888	21.8	25,687,025	13.6	▲ 2,630,751
6月	13,769,564	14.2	14,978,854	19.1	28,748,418	16.7	▲ 1,209,290
7月	14,247,586	9.7	15,158,952	18.3	29,406,538	14.0	▲ 911,366
8月	13,776,106	13.5	16,726,770	29.2	30,502,876	21.6	▲ 2,950,664
9月	14,429,116	13.0	16,062,199	14.5	30,491,315	13.8	▲ 1,633,083
10月	13,977,039	▲ 0.2	17,046,626	26.9	31,023,665	13.1	▲ 3,069,587
11月	12,989,220	▲ 3.1	17,192,762	12.3	30,181,982	5.1	▲ 4,203,542
12月	13,872,484	▲ 9.8	16,281,249	14.0	30,153,733	1.7	▲ 2,408,765

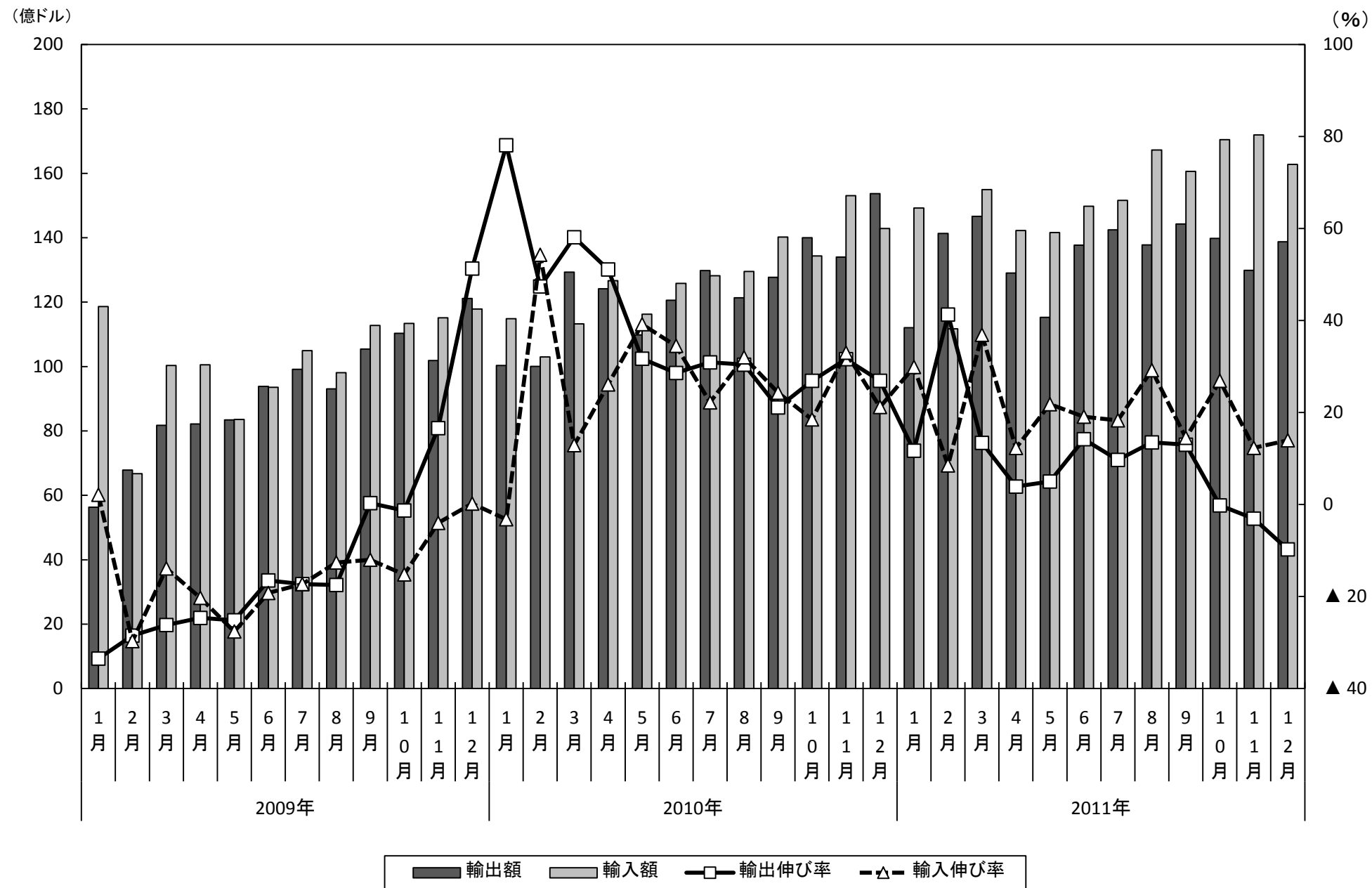
〔注1〕1996年4月より財務省貿易統計が円建てのみの発表となったため、同年以降のドル建て貿易額は、財務省税関長公示レートを基にジェトロが独自に求めたものである。

〔注2〕2011年は確報値。ただし2011年12月の輸入は速報値。2010年以前は確定値。

〔注3〕伸び率は前年(同期)比

〔資料〕財務省貿易統計よりジェトロ作成

図表－1(2) 日中貿易の月次推移(グラフ)



図表－２（１） 2011年の品目別対中輸出

(単位:1,000ドル、%)

	金額	伸び率	シェア	寄与度
総額	161,494,217	8.3	100.0	8.3
食料品	319,544	▲ 38.4	0.2	▲ 0.1
原料品	5,246,769	14.5	3.3	0.4
鉱物性燃料	2,019,451	1.7	1.3	0.0
化学製品	21,200,907	10.4	13.1	1.3
有機化合物	7,498,720	17.1	4.6	0.7
医薬品	449,548	17.3	0.3	0.0
プラスチック	8,001,186	6.4	5.0	0.3
原料別製品	22,865,220	5.6	14.2	0.8
鉄鋼	8,400,767	7.1	5.2	0.4
非鉄金属	4,629,507	▲ 3.2	2.9	▲ 0.1
金属製品	2,745,167	8.1	1.7	0.1
織物用糸・繊維製品	3,276,417	12.0	2.0	0.2
非金属鉱物製品	2,130,235	9.7	1.3	0.1
ゴム製品	984,636	12.9	0.6	0.1
紙類・紙製品	603,377	▲ 7.4	0.4	▲ 0.0
一般機械	39,082,001	16.9	24.2	3.8
原動機	5,587,682	11.1	3.5	0.4
電算機類(含周辺機器)	377,729	▲ 14.4	0.2	▲ 0.0
電算機類の部分品	2,334,023	0.7	1.5	0.0
金属加工機械	5,308,066	46.5	3.3	1.1
ポンプ・遠心分離機	2,760,769	2.6	1.7	0.1
建設用・鉱山用機械	1,690,501	▲ 7.5	1.1	▲ 0.1
荷役機械	1,815,023	1.9	1.1	0.0
加熱用・冷却用機器	1,002,894	9.0	0.6	0.1
繊維機械	1,504,687	21.6	0.9	0.2
ベアリング	1,119,684	19.1	0.7	0.1
電気機器	36,625,060	4.8	22.7	1.1
半導体等電子部品	12,895,783	8.4	8.0	0.7
IC	9,268,571	10.8	5.7	0.6
映像機器	1,828,829	▲ 6.8	1.1	▲ 0.1
映像記録・再生機器	1,778,078	▲ 7.8	1.1	▲ 0.1
テレビ受像機	50,750	53.4	0.0	0.0
音響機器	63,608	▲ 33.6	0.0	▲ 0.0
音響・映像機器の部分品	1,617,443	9.5	1.0	0.1
重電機器	2,447,806	17.8	1.5	0.3
通信機	1,282,206	▲ 17.2	0.8	▲ 0.2
電気計測機器	2,971,771	15.8	1.8	0.3
電気回路等の機器	6,235,997	4.0	3.9	0.2
電池	1,358,408	▲ 9.3	0.8	▲ 0.1
輸送用機器	15,810,623	3.8	9.8	0.4
自動車	7,014,467	▲ 0.4	4.3	▲ 0.0
乗用車	6,155,710	▲ 1.1	3.8	▲ 0.1
バス・トラック	854,573	5.5	0.5	0.0
自動車の部分品	8,311,988	5.6	5.2	0.3
二輪自動車	2,580	125.2	0.0	0.0
船舶	411	▲ 93.7	0.0	0.0
その他	18,324,641	4.7	11.4	0.6
科学光学機器	7,812,399	21.4	4.8	0.9
写真用・映画用材料	732,781	7.8	0.5	0.0
記録媒体(含記録済)	294,244	▲ 16.7	0.2	▲ 0.0

〔資料〕図表－１に同じ

図表－２（２） 2011年の品目別対中輸入

(単位:1,000ドル、%)

	金額	伸び率	シェア	寄与度
総額	183,422,016	20.0	100.0	20.0
食料品	9,356,731	17.2	5.1	0.9
魚介類	3,111,011	19.2	1.7	0.3
えび	152,182	44.4	0.1	0.0
肉類	1,300,075	30.4	0.7	0.2
穀物類	396,396	8.0	0.2	0.0
野菜	2,543,792	21.1	1.4	0.3
果実	848,144	31.0	0.5	0.1
原料品	2,293,855	28.9	1.3	0.3
木材	333,910	24.0	0.2	0.0
非鉄金属鉱	33,991	3.1	0.0	0.0
鉄鉱石	249	345.1	0.0	0.0
大豆	43,809	5.7	0.0	0.0
鉱物性燃料	1,824,091	4.6	1.0	0.1
原油及び粗油	49,415	▲ 52.8	0.0	▲ 0.0
石油製品	490,767	▲ 12.1	0.3	▲ 0.0
揮発油	232,374	▲ 38.5	0.1	▲ 0.1
液化天然ガス	0	—	0.0	0.0
液化石油ガス	6,409	25.0	0.0	0.0
石炭	978,352	15.3	0.5	0.1
化学製品	13,247,763	52.1	7.2	3.0
有機化合物	2,896,636	33.9	1.6	0.5
医薬品	648,394	6.2	0.4	0.0
原料別製品	22,652,277	29.2	12.4	3.4
鉄鋼	2,792,875	61.8	1.5	0.7
非鉄金属	2,766,521	37.1	1.5	0.5
金属製品	5,352,236	22.7	2.9	0.7
織物用糸・繊維製品	5,251,006	25.4	2.9	0.7
非金属鉱物製品	2,762,334	17.8	1.5	0.3
木製品等(除家具)	1,497,862	26.5	0.8	0.2
一般機械	29,601,048	15.3	16.1	2.6
原動機	721,693	▲ 12.9	0.4	▲ 0.1
電算機類(含周辺機器)	14,948,412	19.5	8.2	1.6
電算機類の部分品	3,657,418	▲ 7.1	2.0	▲ 0.2
電気機器	45,544,715	15.1	24.8	3.9
半導体等電子部品	2,885,973	▲ 7.1	1.6	▲ 0.1
IC	1,493,384	▲ 13.9	0.8	▲ 0.2
音響映像機器(含部品)	12,058,054	0.5	6.6	0.0
映像記録・再生機器	2,893,710	4.1	1.6	0.1
重電機器	3,413,788	14.8	1.9	0.3
通信機	12,655,497	42.7	6.9	2.5
電気計測機器	874,806	27.2	0.5	0.1
輸送用機器	3,482,478	23.6	1.9	0.4
自動車	17,185	16.0	0.0	0.0
自動車の部分品	1,940,223	21.0	1.1	0.2
航空機類	6,214	▲ 0.4	0.0	0.0
その他	55,419,058	17.9	30.2	5.5
科学光学機器	3,549,052	24.5	1.9	0.5
衣類・同付属品	26,018,841	19.0	14.2	2.7
家具	3,837,435	16.2	2.1	0.4
バッグ類	3,035,457	8.0	1.7	0.2

図表－３（１） 対中国輸出（品目別）の伸び率の推移

（単位：1,000ドル、％）

	2010年												2011年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総額	78.1	47.4	58.1	51.1	31.7	28.6	30.9	30.4	21.1	26.9	31.6	26.9	11.7	41.3	13.4	3.9	5.0	14.2	9.7	13.5	13.0	▲0.2	▲3.1	▲9.8
食料品	86.7	4.1	58.1	46.7	41.1	20.5	30.2	20.0	42.1	33.4	5.4	23.2	▲36.5	60.7	15.1	▲60.0	▲63.0	▲46.3	▲54.9	▲28.9	▲49.4	▲72.2	▲32.5	▲27.1
原料品	64.6	▲0.3	2.0	5.2	▲0.8	▲8.3	▲10.8	5.0	4.9	19.9	30.4	11.2	▲4.1	40.9	15.3	▲8.3	7.2	38.7	30.2	30.7	21.4	7.6	8.4	0.6
鉱物性燃料	22.6	9.8	▲8.4	117.4	17.0	▲51.7	▲8.8	10.1	▲23.2	▲8.8	▲56.4	100.0	45.8	▲1.0	109.3	▲52.2	▲6.2	219.6	7.8	▲24.7	5.3	20.6	56.6	▲66.1
化学製品	105.3	66.0	35.6	21.0	9.8	11.7	11.4	14.4	7.4	18.0	33.5	21.6	6.1	34.9	15.1	16.6	12.8	7.3	11.7	18.9	18.2	5.3	▲6.0	▲6.2
有機化合物	81.5	60.9	4.0	▲16.4	▲20.6	▲5.1	2.0	3.1	▲17.0	11.4	39.4	18.1	20.3	24.6	22.2	17.1	22.0	▲6.4	12.8	32.8	41.1	29.2	▲1.2	0.2
医薬品	30.0	21.2	10.8	84.3	59.0	▲8.6	▲4.3	3.8	26.9	22.5	37.0	3.4	44.5	49.6	17.6	▲32.8	7.9	74.5	1.3	48.7	42.1	▲29.9	▲10.4	69.5
プラスチック	137.1	70.2	66.2	44.5	27.9	23.1	10.8	19.5	20.5	18.3	29.5	25.3	▲3.4	48.1	10.2	16.5	3.4	8.6	11.6	12.8	7.4	▲0.1	▲9.3	▲14.6
原料別製品	41.8	29.9	42.8	39.6	29.2	25.8	23.0	23.7	11.8	19.3	27.4	16.9	▲2.0	22.7	13.3	▲0.7	1.9	0.2	4.0	14.4	17.3	7.3	1.9	▲8.6
鉄精	20.7	11.6	20.1	35.1	33.1	30.0	11.6	21.1	5.4	22.2	38.5	19.7	14.5	38.5	20.0	▲1.6	14.0	▲2.4	3.9	13.9	13.0	2.3	▲8.9	▲11.4
非鉄金属	74.8	64.7	70.5	30.8	21.6	11.1	39.3	20.2	15.6	27.3	9.2	11.0	▲30.0	▲14.3	1.5	▲26.0	▲26.1	▲13.1	▲3.2	21.2	30.7	15.7	28.1	▲7.7
金属製品	44.5	53.7	59.2	57.6	33.3	31.1	26.5	24.9	12.7	9.2	34.8	20.9	6.0	30.1	12.0	13.8	3.5	4.5	0.9	15.1	15.7	10.2	0.2	▲6.6
織物・繊維製品	9.9	▲14.7	15.9	19.2	3.9	9.4	12.8	21.6	15.3	10.5	12.6	8.5	▲13.0	46.3	19.8	26.5	10.3	12.6	12.3	9.3	19.9	5.5	10.7	▲1.8
非金属鉱物製品	140.1	82.7	109.2	82.5	76.1	67.1	51.6	43.6	23.3	33.4	56.2	26.5	24.4	36.8	20.0	14.1	18.8	14.9	6.5	12.9	9.3	4.8	▲14.1	▲11.1
ゴム製品	98.8	68.1	98.7	87.6	76.9	53.1	32.7	36.9	19.6	14.8	24.2	27.1	1.2	42.4	15.2	6.3	5.6	12.3	18.8	19.4	21.1	23.4	5.9	▲8.7
紙類・紙製品	64.5	47.5	57.6	64.2	39.2	39.5	27.3	14.2	13.4	▲0.3	19.7	14.4	▲16.5	17.1	1.9	▲8.8	▲6.7	▲11.7	▲3.2	▲1.6	▲2.8	▲10.9	▲18.0	▲22.0
一般機械	67.1	45.4	80.9	96.5	86.3	74.3	91.9	77.8	63.6	68.2	71.8	55.7	45.1	92.6	31.1	33.4	23.2	31.8	12.9	12.5	11.1	▲5.9	▲9.6	▲22.8
原動機	88.1	77.4	69.3	62.1	61.6	84.0	62.4	6.6	31.7	42.5	49.9	40.3	30.8	70.1	22.1	18.2	7.3	7.9	13.7	33.5	22.2	▲3.2	▲20.2	▲26.5
電気機械（含周辺機器）	47.1	▲15.3	49.5	18.2	27.9	▲4.5	▲11.4	39.4	12.5	10.9	▲4.8	▲12.3	▲13.8	41.1	▲15.5	▲18.1	▲19.6	▲6.1	▲17.4	▲16.7	▲12.1	▲32.6	▲16.2	▲22.7
電気機械の部分品	83.4	33.2	129.3	71.2	45.0	44.7	29.3	12.9	▲3.3	23.4	13.6	11.9	▲17.8	41.4	▲8.3	▲19.2	▲11.9	14.2	4.6	5.2	18.8	▲15.8	3.9	8.9
金属加工機械	28.5	8.2	68.3	166.3	82.8	125.6	188.6	177.8	113.2	141.9	188.2	144.2	36.1	184.0	76.9	75.4	70.2	54.9	48.5	33.1	34.0	19.2	16.8	10.2
ポンプ・通心分離機	40.0	18.0	52.3	36.3	49.7	26.0	43.7	79.5	47.5	38.2	48.1	21.5	12.4	63.8	▲2.8	11.8	▲2.0	20.6	2.3	▲4.2	6.1	▲6.7	▲21.8	▲20.5
建設用・鉱山用機械	139.1	161.9	131.3	224.8	59.8	91.1	85.5	138.9	101.9	80.4	132.0	26.0	75.0	60.2	▲23.1	▲27.6	2.8	18.7	▲17.6	7.3	▲21.8	▲14.7	▲47.2	▲49.4
荷役機械	26.2	32.9	85.2	88.7	81.9	123.0	134.2	77.2	34.1	14.2	41.0	33.0	37.6	67.2	29.2	22.5	19.8	10.0	▲15.4	0.5	▲0.9	▲19.7	▲30.2	▲46.5
加熱用・冷却用機器	44.4	24.2	63.4	91.3	65.4	1.9	33.5	25.3	90.1	38.8	0.4	33.1	0.6	76.6	▲1.4	▲2.2	52.8	13.7	34.0	20.3	▲30.3	9.1	▲14.1	▲2.9
繊維機械	228.6	110.1	202.4	146.7	297.3	92.1	75.8	123.9	163.4	80.0	135.2	96.8	35.3	111.2	49.9	93.4	43.9	41.9	24.7	▲17.9	▲38.6	21.0	6.8	▲20.1
ベアリング	101.5	127.5	155.4	155.9	89.6	71.4	82.3	50.4	26.5	38.4	36.4	35.4	13.9	41.3	12.4	27.4	26.0	26.1	7.0	39.5	33.6	9.6	10.3	▲2.6
電気機器	71.1	35.1	52.1	38.2	20.1	23.7	26.1	23.8	14.1	19.6	20.4	17.0	4.2	32.9	6.2	▲0.8	0.4	9.8	8.2	10.7	6.1	▲7.2	▲5.0	▲0.6
半導体等電子部品	95.3	54.4	68.7	42.2	16.4	20.2	25.8	31.9	18.2	23.4	20.5	15.1	8.4	31.9	19.1	4.0	12.4	12.0	11.0	3.0	8.6	▲15.1	▲1.7	16.4
IC	126.4	63.6	83.7	43.1	23.8	28.0	36.8	43.6	23.5	32.9	31.4	19.5	15.2	45.2	24.5	2.4	11.1	12.3	15.3	3.1	12.5	▲18.6	▲1.8	23.8
映像機器	226.3	46.5	14.9	12.5	40.5	56.0	63.1	4.7	0.4	1.5	▲10.0	▲11.0	▲14.2	14.3	▲19.8	▲49.0	▲10.8	6.9	9.4	39.3	▲23.5	38.7	▲49.6	▲9.2
映像記録・再生機器	232.2	46.3	14.8	12.1	43.0	58.4	62.5	5.0	0.7	1.4	▲11.0	▲11.9	▲14.9	11.6	▲22.2	▲51.3	▲14.2	5.9	9.3	37.9	▲23.5	40.3	▲50.4	▲8.6
テレビ受像機	14.2	60.6	16.3	48.7	▲43.5	▲32.2	100.6	▲16.7	▲22.8	3.1	176.7	27.8	30.8	65.7	148.5	90.1	116.6	269.5	89.8	12.9	154.9	▲21.9	▲17.4	0.4
音響機器	81.5	65.0	167.6	21.9	76.2	26.1	▲39.8	▲45.1	▲51.6	▲49.3	▲37.6	▲30.3	▲43.3	▲12.3	▲34.7	▲54.3	▲41.2	▲41.6	4.0	▲17.3	▲21.2	▲41.4	▲24.9	▲58.4
音響・映像機器の部分品	33.2	▲15.6	2.8	9.3	16.2	27.9	16.1	▲2.2	▲18.0	▲14.4	▲11.5	▲8.6	▲11.9	45.8	▲0.1	▲5.7	11.1	15.3	12.1	32.1	41.9	7.1	▲10.3	▲10.9
重電機器	52.1	5.7	88.0	67.8	▲1.9	41.6	23.4	43.1	54.3	32.9	32.8	36.1	8.1	79.1	2.3	18.1	20.4	24.3	21.2	26.1	20.2	16.3	5.3	▲2.8
通信機	11.6	▲41.6	▲24.8	▲27.7	▲38.3	▲24.2	▲32.3	▲5.2	▲18.8	4.2	30.8	25.5	8.5	36.1	▲6.6	▲14.1	▲4.8	9.8	10.4	▲4.5	▲39.4	▲52.5	▲45.0	▲45.4
電気計測機器	77.8	87.6	88.7	66.2	48.8	43.1	52.7	53.6	52.2	41.4	63.5	33.6	29.7	45.2	25.2	18.3	1.3	25.6	18.1	20.3	17.0	8.8	▲0.8	▲2.7
電気回路等の機器	97.4	77.4	87.5	63.3	43.1	30.6	35.7	26.1	33.1	27.3	29.7	25.2	7.3	28.2	6.5	5.4	▲12.1	10.0	▲0.8	10.6	7.6	▲0.8	2.2	▲7.4
電池	49.8	18.2	47.1	20.7	5.5	▲16.7	▲1.1	▲19.1	▲20.4	▲10.4	▲8.5	▲5.3	▲7.7	3.5	▲21.8	▲11.4	▲18.8	2.6	▲1.1	4.6	1.4	▲11.3	▲20.9	▲22.3
輸送用機器	202.5	166.8	145.8	84.3	39.6	35.5	20.1	25.4	32.8	18.9	26.2	31.3	16.1	21.7	▲12.2	▲33.7	▲23.9	3.7	15.0	34.1	24.5	20.3	2.6	▲12.7
自動車	338.2	258.1	205.3	141.9	84.3	56.9	59.9	53.0	63.8	42.1	36.3	44.2	35.9	20.4	▲19.3	▲65.7	▲31.6	4.4	8.7	27.2	18.4	23.8	▲3.7	▲17.5
乗用車	332.4	271.7	199.9	138.8	82.9	51.5	51.4	46.5	64.4	45.4	35.6	29.8	31.8	13.2	▲20.2	▲67.9	▲38.9	1.6	7.3	35.4	18.7	26.1	▲4.4	▲14.9
バス・トラック	454.2	160.8	286.6	175.5	93.8	96.9	120.6	100.8	59.1	12.5	44.5	447.4	75.1	110.0	▲10.5	▲50.3	15.2	21.5	15.4	▲18.6	17.3	▲2.6	3.2	▲34.6
自動車の部分品	154.0	132.2	114.9	60.1	22.5	21.2	2.3	6.6	11.0	3.8	14.8	21.4	0.5	20.8	▲8.5	▲12.5	▲21.7	▲0.4	20.6	37.0	27.1	15.7	8.7	▲9.7
二輪自動車	▲57.8	600.2	▲55.7	1,521.2	0.0	▲47.0	998.6	▲4.6	313.2	▲46.4	0.0	▲86.2	747.1	▲72.9	3,392.7	8.7	▲82.2	14.8	1,498.9	883.2	178.3	76.1	31.4	▲50.7
船舶	0.0	0.0	0.0	0.0	1,574.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲96.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	全減
その他	93.1	42.7	58.8	56.0	25.0	17.4	22.9	23.5	10.0	15.4	19.0	10.7	0.3	26.3	8.5	▲1.1	0.7	7.5	4.4	2.9	11.5	▲5.1	0.9	6.6
写真用・映画用材料	110.5	31.4	68.0	59.5	50.9	80.3	28.1	19.5	14.1	16.6	▲3.9	5.4	▲17.6	28.6	4.6	3.7	▲10.6	0.7	5.5	▲2.2	25.6	▲7.6	24.3	15.9
科学光学機器	172.9	90.1	110.5	100.9	65.8	49.1	37.6	31.0	22.1	19.0	40.0	33.4	19.1	43.9	21.5	4.8	12.9	17.5	20.8	17.2	33.5	31.8	27.1	47.0
記録媒体（含記録済）	▲1.1	▲51.9	2.2	▲25.8	▲17.2	▲2.0	5.2	▲5.6	▲16.3	19.9	11.5	1.7	▲24.9	12.0	▲34.2	▲23.1	▲36.3	▲11.3	▲1.9	▲10.1	▲4.3	▲21.7	▲18.6	▲

図表－３(２) 対中国輸入(品目別)の伸び率の推移

(単位:1,000ドル、%)

	2010年												2011年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総額	▲ 3.2	54.3	12.9	26.1	39.2	34.5	22.2	32.0	24.3	18.5	33.0	21.2	29.9	▲ 8.5	36.9	12.3	21.8	19.1	18.3	29.2	14.5	26.9	12.3	14.0
食料品	▲ 7.0	70.3	1.8	23.2	19.5	13.3	6.6	27.3	18.5	4.1	28.2	15.3	32.1	▲ 5.8	40.8	14.1	18.6	12.9	6.7	18.5	15.1	29.0	14.4	17.4
魚介類	▲ 17.7	77.6	▲ 8.4	33.5	26.9	3.6	2.6	31.3	29.3	3.0	29.0	15.8	35.5	▲ 13.3	57.3	3.3	4.6	24.9	19.9	16.4	17.8	32.6	24.5	24.7
えび	▲ 14.8	75.6	▲ 18.4	▲ 18.2	2.1	▲ 11.3	▲ 26.4	0.5	▲ 16.5	▲ 22.4	37.6	11.5	22.0	0.1	70.7	48.7	38.7	112.7	47.7	40.3	43.5	41.8	74.4	37.7
肉類	▲ 26.4	73.0	0.5	37.1	25.1	21.9	24.7	66.0	28.7	14.4	25.5	9.0	46.0	1.9	52.3	20.4	43.9	30.2	9.4	22.9	30.0	43.8	26.4	46.1
穀物類	43.9	30.8	3.1	▲ 10.8	▲ 7.8	8.7	1.0	9.7	3.8	▲ 22.9	26.8	13.6	▲ 21.2	0.5	▲ 0.8	23.4	21.7	1.6	▲ 13.8	7.4	23.7	61.5	22.7	0.4
野菜	3.9	67.5	9.7	20.3	20.4	30.3	9.2	28.7	24.6	18.8	47.2	31.7	46.6	11.3	52.6	31.7	39.3	17.2	12.4	26.8	11.0	22.3	▲ 0.9	3.1
果実	7.1	53.2	9.7	13.7	21.0	18.2	5.6	20.2	15.5	8.0	39.8	20.2	39.5	17.4	63.1	52.6	43.2	42.8	22.5	38.3	33.0	25.9	14.5	8.5
原料品	▲ 12.4	49.2	8.0	30.6	41.0	35.2	19.9	37.8	27.8	8.0	38.9	28.0	41.5	9.6	57.1	19.4	42.4	30.0	20.6	44.1	36.1	33.9	21.2	5.7
木材	▲ 25.5	64.0	▲ 33.4	▲ 4.8	11.1	13.2	7.9	34.4	14.5	25.0	34.6	37.2	48.5	▲ 10.8	95.5	31.4	66.8	34.3	12.8	16.0	16.8	18.3	▲ 2.7	▲ 4.3
非鉄金属鉱	20.3	126.8	176.8	135.9	291.4	968.9	66.7	87.5	36.0	▲ 31.6	125.3	7.2	192.8	▲ 15.6	27.2	▲ 46.9	▲ 17.3	▲ 18.2	16.7	54.0	28.3	▲ 6.0	▲ 58.8	32.7
鉄鉱石	0.0	0.0	0.0	▲ 56.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	全増	3,527.5	—
大豆	▲ 15.7	50.1	6.3	10.6	49.7	▲ 23.8	▲ 24.8	▲ 4.2	▲ 42.1	8.7	▲ 16.3	▲ 34.7	▲ 9.8	▲ 13.2	45.5	5.5	▲ 8.4	▲ 16.4	▲ 4.1	33.7	6.1	27.9	49.4	27.2
鉱物性燃料	▲ 49.9	14.9	83.0	98.3	247.7	244.2	30.9	67.0	6.7	30.0	▲ 48.7	▲ 15.1	95.9	75.1	4.2	▲ 21.8	▲ 6.2	▲ 5.5	▲ 21.8	▲ 24.6	▲ 45.1	23.2	▲ 33.7	49.9
原油及び粗油	0.0	0.0	129.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	全増	—
石油製品	10.9	1,488.8	2,588.5	743.7	1,845.4	1,006.8	▲ 42.2	▲ 39.6	79.3	▲ 43.2	▲ 29.0	▲ 59.1	152.2	28.8	▲ 82.3	▲ 83.2	37.7	0.4	▲ 0.4	58.4	▲ 74.4	12.4	▲ 61.2	▲ 21.3
揮発油	▲ 5.3	103,659.3	52,002.0	30,786.0	67,378.0	70,407.6	▲ 58.4	▲ 65.3	114.6	▲ 47.8	▲ 39.5	▲ 78.8	200.7	▲ 44.7	0.0	▲ 99.9	29.5	▲ 28.4	▲ 99.4	102.1	▲ 99.8	1.5	▲ 99.4	▲ 99.7
液化天然ガス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
液化石油ガス	136.5	234.5	52.1	▲ 40.5	▲ 18.6	▲ 57.6	7.3	110.2	1,080.3	145.8	10.0	12.1	▲ 51.7	8.5	73.8	1,010.9	287.8	236.0	▲ 20.8	▲ 61.8	▲ 41.8	▲ 20.7	50.2	▲ 1.0
石炭	▲ 70.0	▲ 42.9	▲ 10.4	▲ 44.6	92.8	138.5	53.5	176.7	52.8	115.2	▲ 43.8	21.8	90.7	141.2	82.2	117.7	▲ 33.3	▲ 26.5	▲ 1.5	▲ 48.6	▲ 38.6	17.1	▲ 19.9	20.5
化学製品	6.9	83.4	89.7	62.8	91.5	47.1	41.2	67.8	52.0	24.3	54.4	71.4	52.0	45.6	76.6	54.3	53.5	67.1	64.5	61.7	44.5	82.1	44.9	4.3
有機化合物	1.6	70.9	89.1	52.9	81.9	29.7	29.4	48.5	26.1	12.2	41.7	21.0	43.2	44.1	36.4	44.4	41.4	45.4	26.5	34.0	26.7	31.7	21.7	16.5
医薬品	9.2	44.7	63.7	▲ 3.1	27.0	▲ 5.5	1.0	0.3	23.4	▲ 16.2	8.7	14.2	▲ 4.9	25.5	▲ 1.5	▲ 14.7	12.8	23.2	▲ 0.7	17.6	10.9	17.6	▲ 11.1	9.4
原料別製品	▲ 8.8	56.0	10.1	30.3	42.2	39.4	27.5	35.9	14.5	2.9	22.0	15.0	28.0	5.0	49.1	23.7	35.4	26.0	22.6	36.4	30.0	42.1	25.2	26.4
鉄鋼	2.9	98.7	51.3	111.7	186.3	309.1	170.4	112.4	66.2	77.1	89.2	53.0	17.2	19.8	69.1	39.4	47.9	37.8	28.3	89.4	99.8	108.5	81.1	93.9
非鉄金属	37.0	213.0	198.0	242.7	377.0	297.6	179.7	173.1	72.9	81.0	104.2	61.6	81.2	29.2	90.7	54.4	34.6	11.2	29.2	29.5	49.6	48.1	21.9	4.4
金属製品	▲ 19.1	30.5	▲ 8.6	10.8	13.9	15.6	10.1	22.1	17.5	10.6	24.4	15.1	19.2	3.9	41.0	17.2	32.0	22.8	19.1	29.6	17.3	30.0	18.2	23.5
織物・糸・繊維製品	▲ 7.0	51.7	▲ 8.0	9.8	15.3	6.7	3.5	14.8	▲ 6.9	▲ 26.5	▲ 11.9	▲ 5.1	20.2	1.6	56.3	27.3	40.0	32.2	26.8	33.9	18.0	28.6	15.9	11.9
非金属鉱物製品	▲ 14.2	42.7	23.7	25.3	33.3	21.6	17.9	24.8	22.0	3.1	31.3	15.3	38.8	▲ 4.7	26.9	2.8	15.7	18.3	6.4	22.5	23.3	33.4	11.6	20.4
木製品等(除家具)	▲ 21.9	65.7	▲ 13.9	13.6	27.9	13.6	6.7	27.4	7.4	3.9	22.4	17.0	34.1	▲ 10.2	66.0	17.2	50.3	38.0	31.8	28.9	22.7	27.2	7.9	17.5
一般機械	5.8	37.7	20.9	22.4	44.7	46.7	30.4	41.2	46.1	24.1	38.8	22.8	22.1	6.4	22.6	6.3	22.9	7.3	21.8	32.4	7.4	11.5	14.7	11.0
原動機	10.6	105.9	29.7	87.4	87.0	55.8	5.7	32.4	22.2	15.3	▲ 13.2	▲ 18.3	▲ 11.1	▲ 48.0	▲ 7.2	▲ 12.0	▲ 18.1	▲ 20.5	3.6	▲ 2.2	▲ 28.8	▲ 11.3	▲ 6.9	23.4
電算機類(含周辺機器)	9.9	24.3	18.7	19.6	54.8	65.5	27.6	33.8	57.9	26.5	40.4	27.2	28.4	14.9	19.5	10.8	33.4	1.9	35.6	45.5	9.2	12.5	23.7	10.0
電算機類の部分品	23.3	60.0	26.9	26.1	44.4	45.1	32.4	42.2	24.1	21.6	25.6	7.8	▲ 3.0	▲ 10.9	8.8	▲ 17.3	▲ 6.0	▲ 7.2	▲ 10.9	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 9.3	0.2
電気機器	29.8	70.6	45.5	56.5	54.3	50.6	40.1	60.3	45.0	45.6	50.2	33.7	32.1	15.9	33.8	4.5	11.9	21.0	16.0	20.4	1.4	25.7	3.3	3.9
半導体等電子部品	54.0	41.6	36.1	59.7	60.4	45.7	56.9	36.2	35.7	56.6	33.7	39.9	45.3	19.6	8.6	0.4	▲ 22.1	▲ 19.6	▲ 28.3	▲ 12.1	▲ 0.1	▲ 19.5	▲ 16.6	▲ 20.0
IC	58.5	28.2	8.8	25.7	37.0	29.2	46.4	5.2	9.6	56.7	12.4	25.8	43.3	14.0	1.9	11.6	▲ 38.6	▲ 29.0	▲ 37.8	▲ 13.4	2.4	▲ 42.5	▲ 28.3	▲ 31.9
音響映像機器(含部品)	67.2	130.5	76.9	98.4	76.4	67.7	44.7	77.8	48.2	62.4	80.4	43.1	32.2	16.4	22.4	▲ 5.4	3.2	14.8	19.2	13.3	▲ 8.1	▲ 7.6	▲ 27.7	▲ 29.9
映像記録・再生機器	57.9	115.6	70.9	116.5	109.1	36.6	5.7	25.2	▲ 26.8	3.1	55.0	42.3	2.8	6.6	▲ 0.2	▲ 25.0	0.0	52.6	63.2	74.2	23.1	17.7	▲ 31.3	▲ 39.9
重電機器	▲ 4.1	59.9	34.7	39.9	39.7	33.0	25.9	48.2	26.8	17.7	40.3	21.4	32.7	15.9	26.0	3.8	20.8	28.6	17.5	26.5	5.8	10.9	▲ 2.9	1.7
通信機	40.0	50.5	28.9	48.4	53.2	69.4	50.7	91.5	84.8	89.2	55.0	51.1	47.1	41.4	97.0	18.0	28.8	44.5	28.7	27.5	▲ 8.2	78.3	56.8	56.1
電気計測機器	14.5	91.7	91.3	51.1	67.6	59.8	42.9	56.4	51.8	33.0	29.7	35.7	36.4	21.4	28.1	20.4	26.3	33.4	27.1	22.6	15.9	34.3	26.1	34.4
輸送用機器	▲ 6.4	58.2	20.9	37.7	35.8	31.8	17.3	23.0	18.2	7.5	36.7	25.0	39.0	5.8	29.5	5.1	4.9	15.7	17.3	42.4	30.1	42.0	26.5	22.8
自動車	▲ 83.1	31.5	▲ 86.5	▲ 45.8	▲ 23.4	2.8	▲ 39.8	158.3	▲ 61.1	▲ 1.0	▲ 58.9	263.3	126.3	▲ 36.1	496.8	51.2	▲ 31.0	65.6	▲ 29.7	30.5	21.4	98.7	92.9	▲ 71.9
自動車の部分品	23.9	142.4	96.1	97.1	73.6	57.4	46.3	46.3	31.5	1														

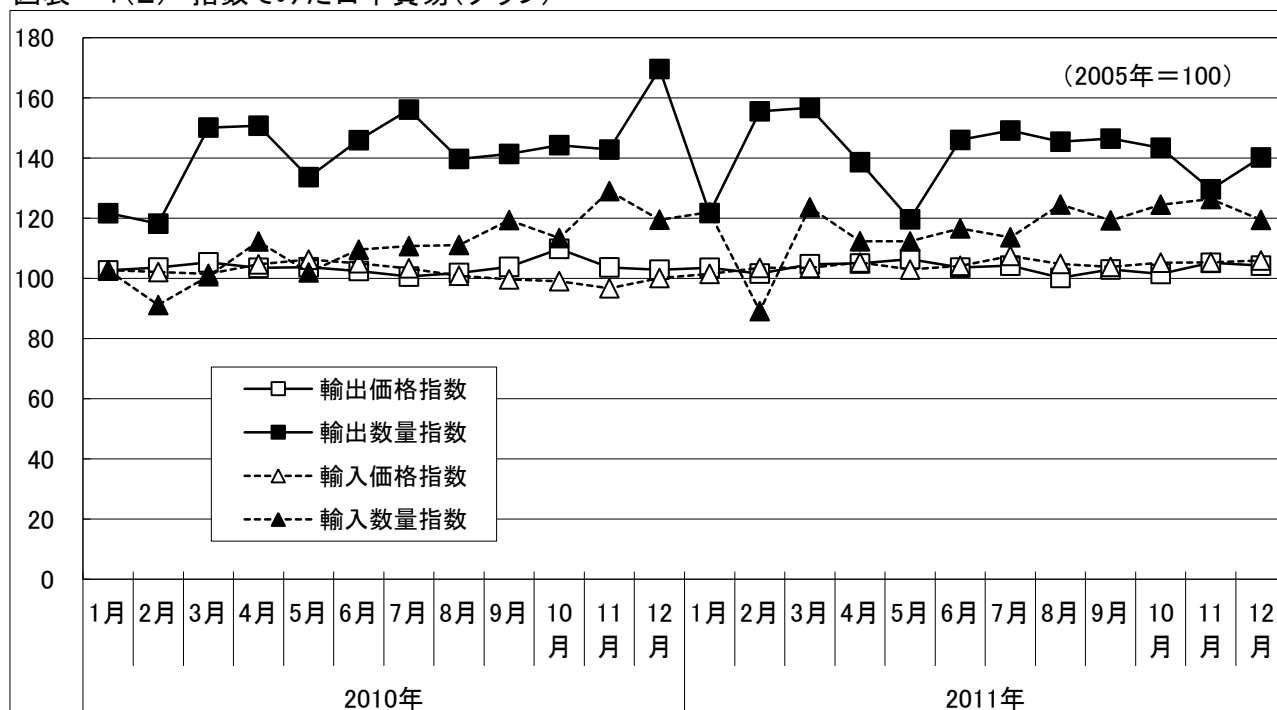
図表－４（１） 指数でみた日中貿易

	輸出			輸入		
	金額	価格	数量	金額	価格	数量
2010年1月	124.89	102.64	121.67	105.42	102.72	102.62
2月	122.45	103.60	118.20	93.07	102.11	91.14
3月	158.14	105.33	150.14	102.25	101.51	100.73
4月	156.08	103.53	150.75	117.51	104.66	112.27
5月	138.62	103.71	133.66	108.35	106.23	101.99
6月	149.55	102.47	145.94	115.08	105.05	109.55
7月	157.05	100.60	156.11	114.43	103.35	110.72
8月	142.26	101.81	139.72	112.10	100.89	111.11
9月	146.81	103.84	141.37	118.99	99.66	119.39
10月	158.49	109.83	144.29	112.35	99.08	113.39
11月	148.06	103.66	142.82	124.79	96.71	129.02
12月	174.51	102.90	169.59	119.67	100.13	119.50
2011年1月	126.03	103.54	121.72	123.85	101.51	122.00
2月	158.06	101.61	155.54	92.23	103.47	89.13
3月	164.04	104.71	156.66	127.93	103.47	123.63
4月	145.50	104.95	138.63	118.27	105.29	112.32
5月	127.35	106.43	119.64	115.58	102.93	112.29
6月	151.28	103.59	146.03	121.50	104.19	116.61
7月	155.47	104.24	149.15	122.17	107.48	113.66
8月	145.69	100.16	145.44	130.55	104.81	124.55
9月	150.79	102.96	146.45	123.86	103.84	119.28
10月	145.57	101.48	143.44	131.01	105.22	124.50
11月	136.34	105.18	129.62	133.12	105.33	126.38
12月	146.16	104.25	140.20	126.56	105.95	119.45

〔注〕2005年＝100

〔資料〕図表－１に同じ

図表－４（２） 指数でみた日中貿易（グラフ）



〔資料〕図表－１に同じ

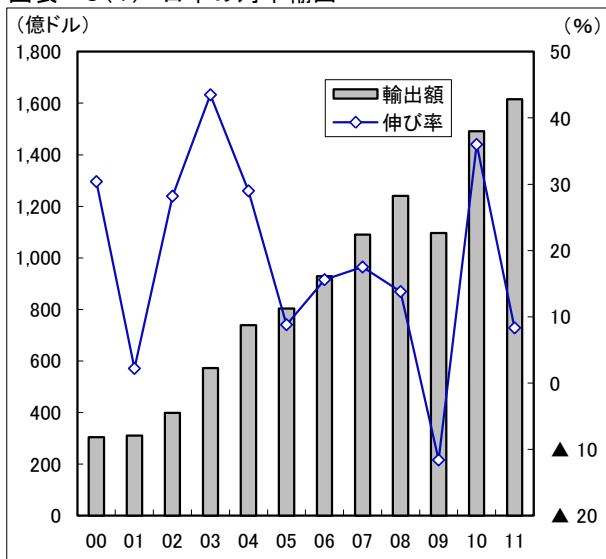
(備考) 指数の算出方法

【金額指数】基準年(2005年)の輸出入額に対する当該時点の輸出入額の比率

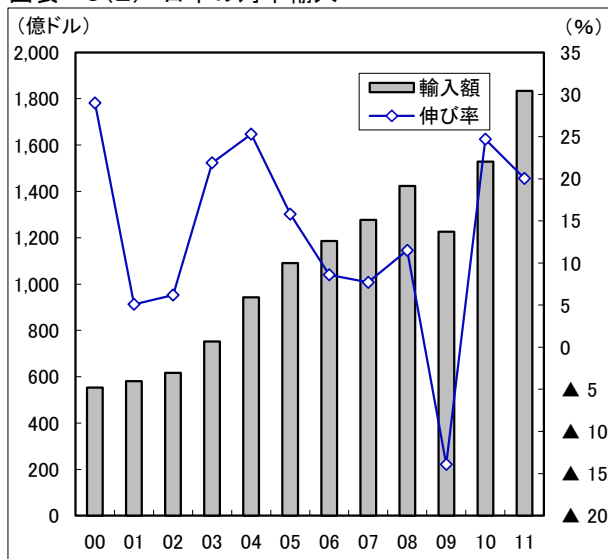
【価格指数】HSコード9桁レベルで、一定の基準を満たすものを選定し、単価(輸出入額÷数量)からフィッシャー式により算出

【数量指数】金額指数を価格指数で除して算出

図表－５（１） 日本の対中輸出

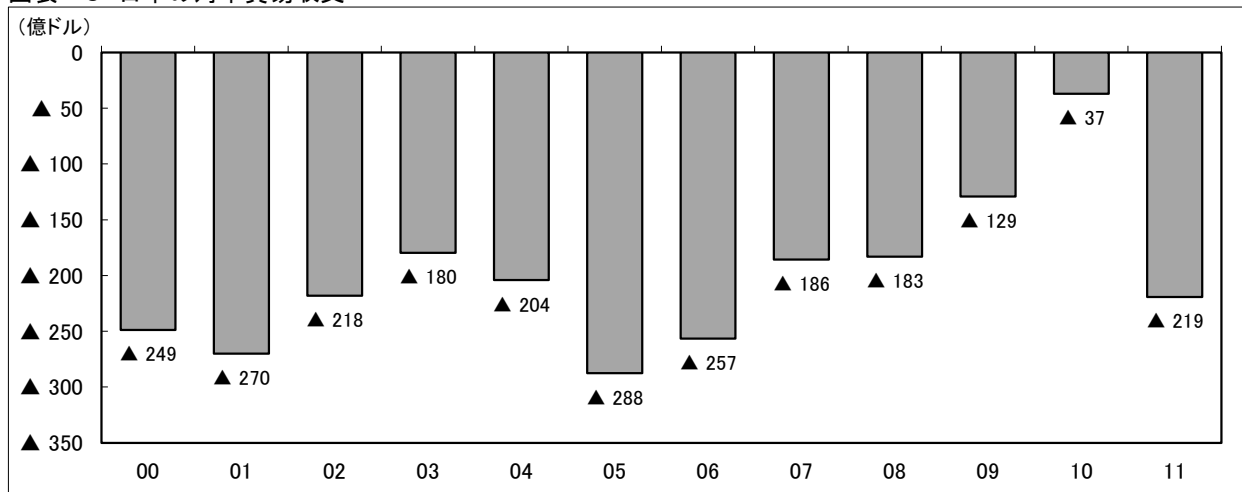


図表－５（２） 日本の対中輸入



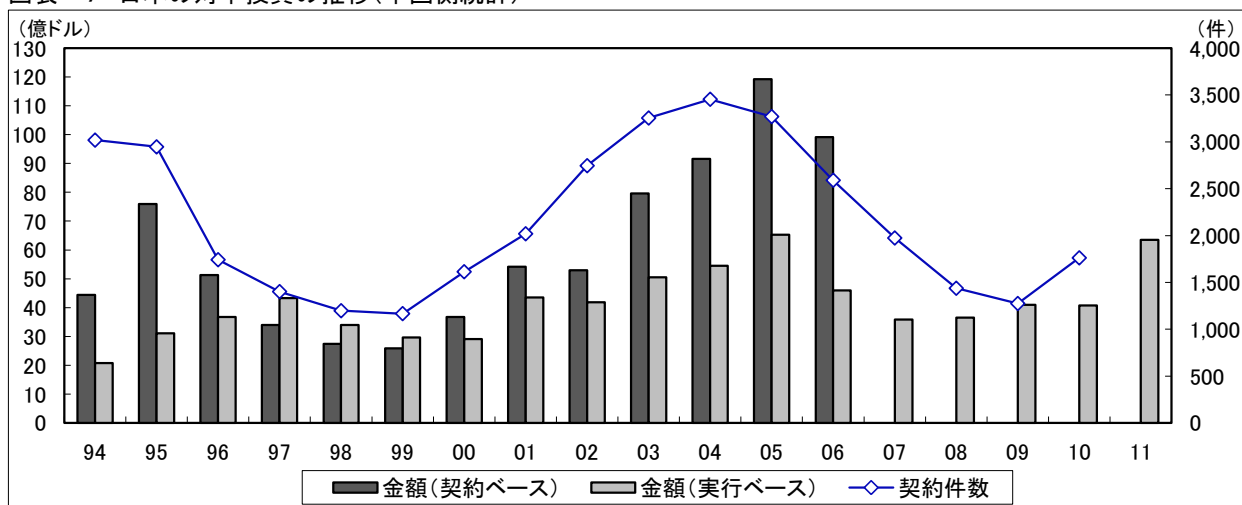
〔資料〕図表－１に同じ

図表－６ 日本の対中貿易収支



〔資料〕図表－１に同じ

図表－７ 日本の対中投資の推移(中国側統計)



〔注１〕2007年より契約ベースでの対内直接投資額の公表を中止。

〔注２〕2011年の契約件数は未発表(2012年2月時点)

〔資料〕中国・商務部発表資料

図表－8(1) 2011年の日本の貿易相手国上位5カ国・地域

(単位:1,000ドル、%)

輸出				輸入			
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア
総額	820,902,360	7.0	100.0	総額	852,331,032	23.3	100.0
中国	161,494,217	8.3	19.7	中国	183,422,016	20.0	21.5
米国	125,677,255	6.3	15.3	米国	74,114,495	10.3	8.7
韓国	65,856,402	6.1	8.0	オーストラリア	56,381,440	25.3	6.6
台湾	50,692,555	▲ 2.9	6.2	サウジアラビア	50,345,583	40.8	5.9
香港	42,833,828	1.6	5.2	アラブ首長国連邦	42,760,024	46.5	5.0

総額			
	金額	伸び率	シェア
総額	1,673,233,392	14.7	100.0
中国	344,916,233	14.3	20.6
米国	199,791,750	7.8	11.9
韓国	105,544,827	16.5	6.3
オーストラリア	74,225,310	22.1	4.4
台湾	73,858,537	▲ 1.8	4.4

〔資料〕図表-1に同じ

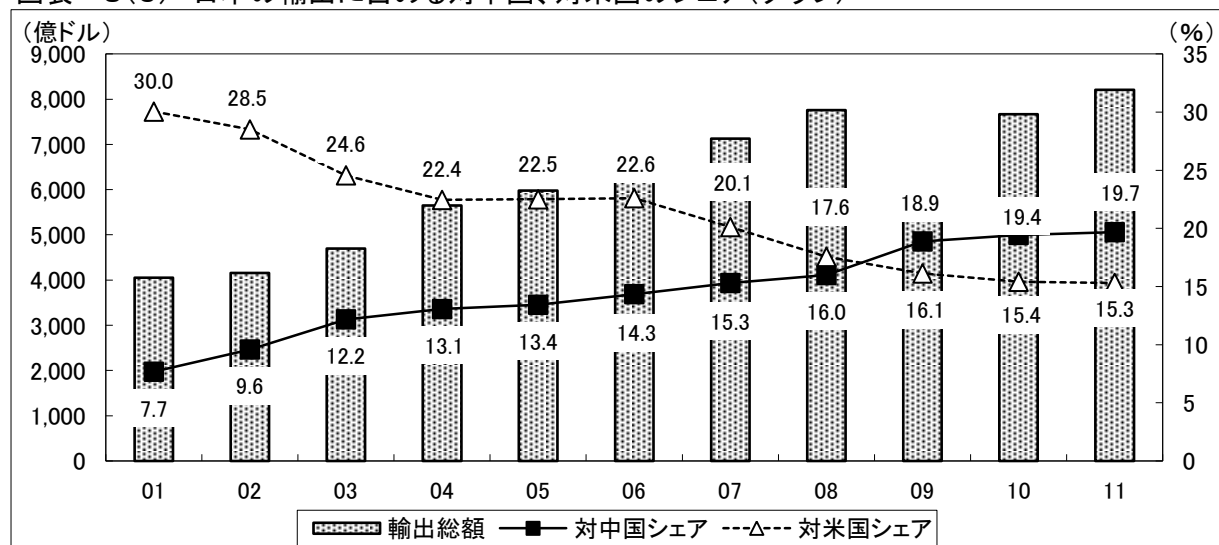
図表－8(2) 日本の輸出に占める中国、米国のシェア

(単位:100万ドル、%)

	対世界		対中国			対米国		
	金額	伸び率	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
2001年	405,155	▲ 15.7	31,091	2.2	7.7	121,712	▲ 14.8	30.0
2002年	415,862	2.6	39,866	28.2	9.6	118,550	▲ 2.6	28.5
2003年	469,862	13.0	57,219	43.5	12.2	115,412	▲ 2.7	24.6
2004年	565,039	20.3	73,818	29.0	13.1	126,839	9.9	22.4
2005年	598,215	5.9	80,340	8.8	13.4	134,889	6.4	22.5
2006年	647,290	8.2	92,852	15.6	14.3	145,651	8.0	22.6
2007年	712,735	10.1	109,060	17.5	15.3	143,383	▲ 1.6	20.1
2008年	775,918	8.9	124,035	13.7	16.0	136,200	▲ 5.0	17.6
2009年	580,787	▲ 25.2	109,630	▲ 11.6	18.9	93,653	▲ 31.2	16.1
2010年	767,025	32.1	149,086	36.0	19.4	118,199	26.2	15.4
2011年	820,902	7.0	161,494	8.3	19.7	125,677	6.3	15.3

〔資料〕図表-1に同じ

図表－8(3) 日本の輸出に占める対中国、対米国のシェア(グラフ)



〔資料〕図表-1に同じ

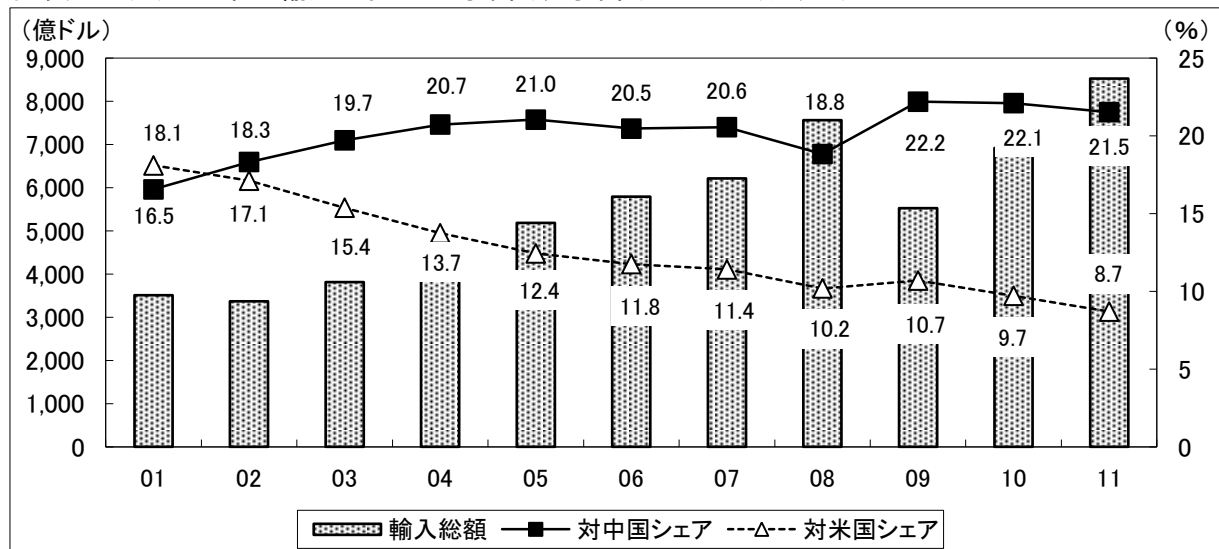
図表－8(4) 日本の輸入に占める米国、中国のシェア

(単位:100万ドル、%)

	対世界		対中国			対米国		
	金額	伸び率	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
2001年	351,098	▲ 7.9	58,105	5.1	16.5	63,520	▲ 12.3	18.1
2002年	336,832	▲ 4.1	61,692	6.2	18.3	57,634	▲ 9.3	17.1
2003年	381,528	13.3	75,193	21.9	19.7	58,658	1.8	15.4
2004年	454,669	19.2	94,227	25.3	20.7	62,435	6.4	13.7
2005年	518,638	14.1	109,105	15.8	21.0	64,497	3.3	12.4
2006年	579,294	11.7	118,516	8.6	20.5	68,071	5.5	11.8
2007年	621,084	7.2	127,644	7.7	20.6	70,836	4.1	11.4
2008年	756,086	21.7	142,337	11.5	18.8	77,018	8.7	10.2
2009年	552,252	▲ 27.0	122,545	▲ 13.9	22.2	59,044	▲ 23.3	10.7
2010年	691,447	25.2	152,801	24.7	22.1	67,171	13.8	9.7
2011年	852,331	23.3	183,422	20.0	21.5	74,114	10.3	8.7

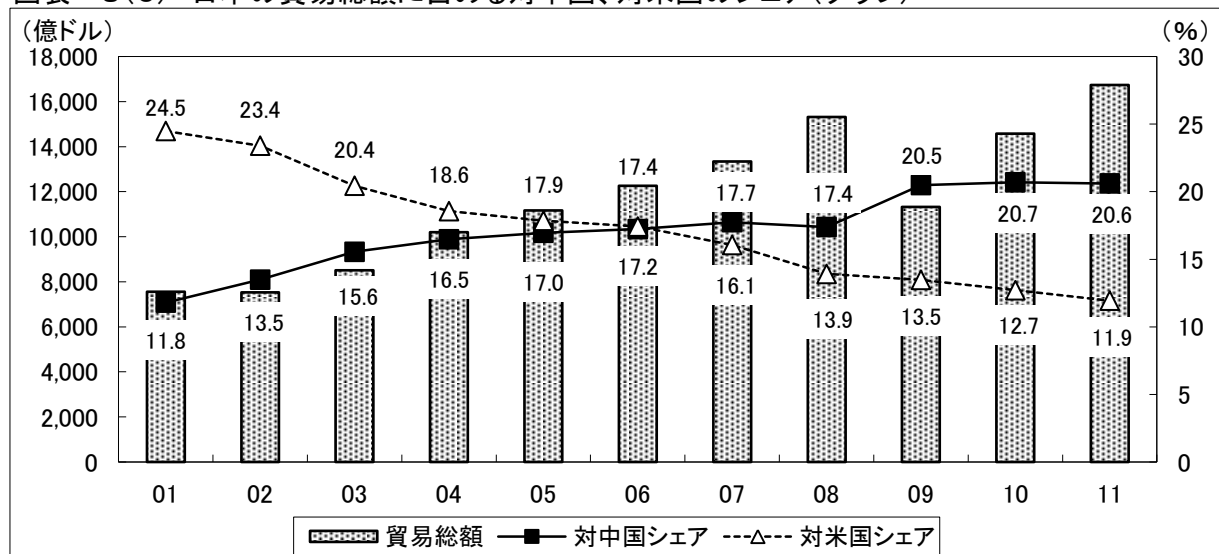
〔資料〕図表－1に同じ

図表－8(5) 日本の輸入に占める対中国、対米国のシェア(グラフ)



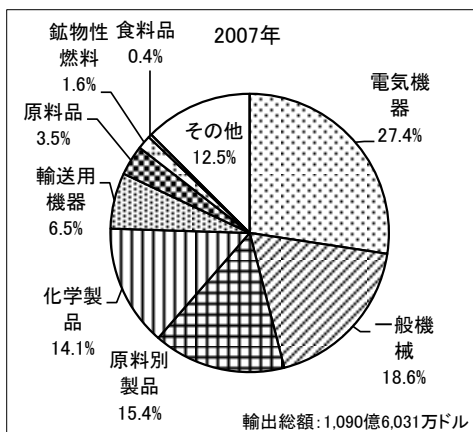
〔資料〕図表－1に同じ

図表－8(6) 日本の貿易総額に占める対中国、対米国のシェア(グラフ)

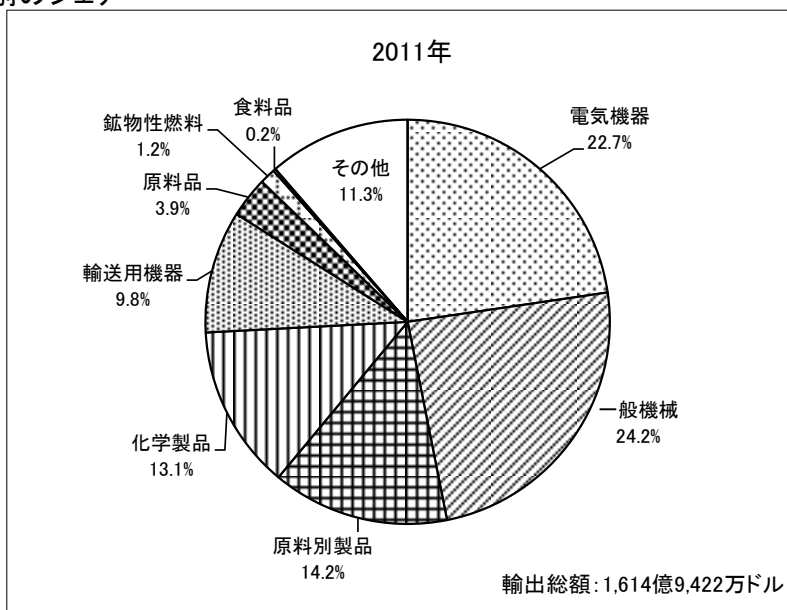


〔資料〕図表－1に同じ

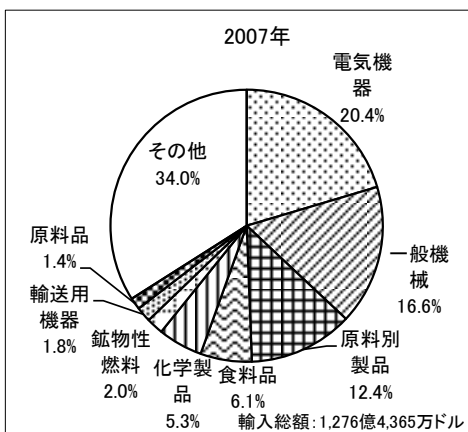
図表－9(1) 対中輸出における品目別のシェア



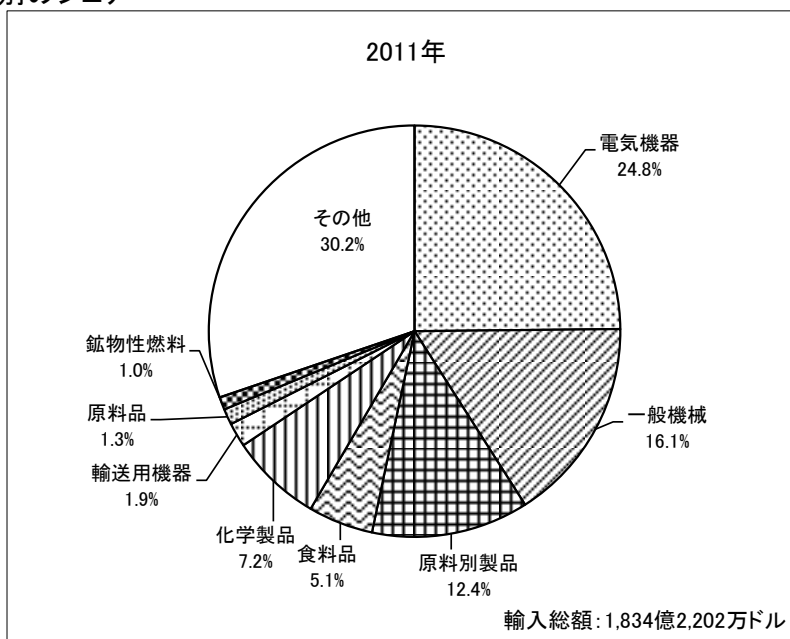
[資料]図表-1に同じ



図表－9(2) 対中輸入における品目別のシェア



[資料]図表-1に同じ



図表－10 輸入ベースでみた日中貿易の動向

(単位:100万ドル、%)

日本側統計	対中貿易				
	輸出額	伸び率	輸入額	伸び率	収支
2003年	57,219	43.5	75,193	21.9	▲ 17,974
2004年	73,818	29.0	94,227	25.3	▲ 20,409
2005年	80,340	8.8	109,105	15.8	▲ 28,765
2006年	92,852	15.6	118,516	8.6	▲ 25,665
2007年	109,060	17.5	127,644	7.7	▲ 18,583
2008年	124,035	13.7	142,337	11.5	▲ 18,302
2009年	109,630	▲ 11.6	122,545	▲ 13.9	▲ 12,915
2010年	149,086	36.0	152,801	24.7	▲ 3,714
2011年	161,494	8.3	183,422	20.0	▲ 21,928

〔資料〕図表-1に同じ

(単位:100万ドル、%)

中国側統計	対日貿易				
	輸出額	伸び率	輸入額	伸び率	収支
2003年	59,423	22.7	74,151	38.7	▲ 14,728
2004年	73,514	23.7	94,372	27.3	▲ 20,858
2005年	83,986	14.2	100,408	6.4	▲ 16,460
2006年	91,623	9.1	115,673	15.2	▲ 24,078
2007年	102,009	11.3	133,942	15.8	▲ 31,934
2008年	116,132	13.8	150,600	12.4	▲ 34,468
2009年	97,868	▲ 15.7	130,915	▲ 13.1	▲ 33,047
2010年	121,043	23.7	176,736	35.0	▲ 55,693
2011年	148,298	22.5	194,591	10.1	▲ 46,293

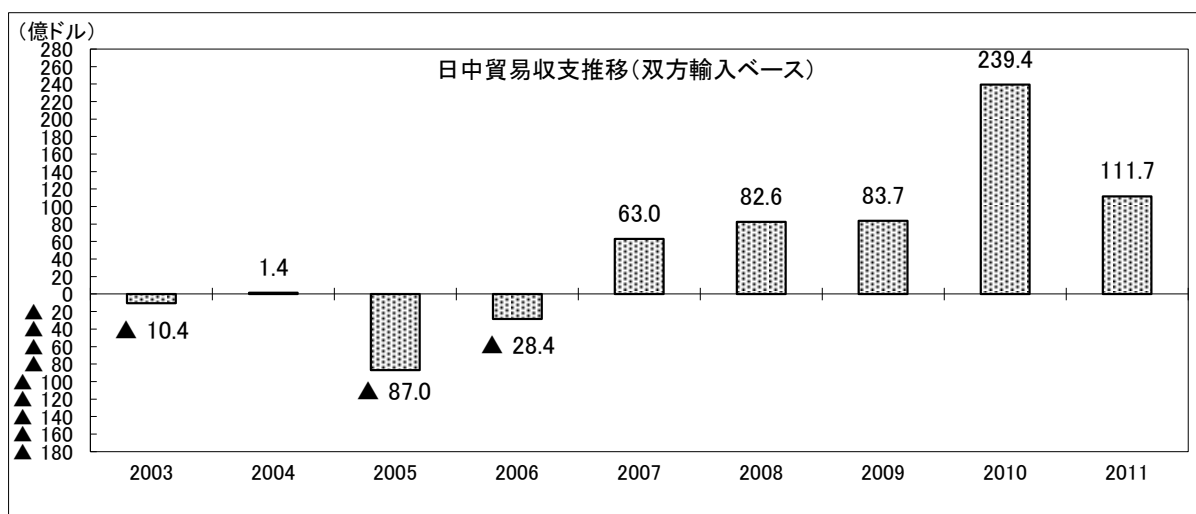
〔資料〕中国海関統計

日中貿易総額表(双方輸入ベース)

(単位:100万ドル、%)

	合計額	伸び率	収支(日本)
2003年	149,344	16.1	▲ 1,042
2004年	188,599	26.3	145
2005年	209,512	11.1	▲ 8,697
2006年	234,189	11.8	▲ 2,844
2007年	261,586	11.7	6,299
2008年	292,937	12.0	8,263
2009年	253,460	▲ 13.5	8,370
2010年	329,537	30.0	23,935
2011年	378,013	14.7	11,169

(注)伸び率は前年比



(備考) 日中間での財の移動は相当分が香港経由で行われており、日中貿易の実態を把握するためには香港経由分も勘案する必要がある。貿易統計は輸出は仕向け地ベース、輸入は原産地ベースで作成されることから、日中どちらかの輸出入統計を用いるよりも、日中双方の輸入統計を用いた方がより実態を正確に表していると考えられる。

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、万一、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

作成部署 日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 中国北アジア課
〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 6 階
TEL： 03-3582-5181
FAX： 03-3582-5309
E メール： ORG@jetro.go.jp
